

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2018年2月22日に発表した2017年度決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本文書と英文リリースとの間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<https://www.home.barclays/barclays-investor-relations/results-and-reports/results.html>よりご覧いただけます。

Barclays PLC Results Announcement

バークレイズ・ピーエルシー
2017年度決算報告書

2018年2月22日発表

目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	1-2
グループ最高責任者によるご挨拶	3
グループ財務担当取締役のレビュー	4-6
事業部門別業績	
• バークレイズ UK	7-9
• バークレイズ・インターナショナル	10-12
• 本社	13
バークレイズ・ノンコアの業績	14
非継続事業の業績	15
四半期業績の要約	16
事業部門別四半期業績	17-20
業績管理	
• 利ざやおよび残高	21
• 報酬	22-23
リスク管理	
• 概要	24
• 信用リスク	25
• 財務および資本リスク	26-37
要約連結財務書類	38-42
財務書類に対する注記(抜粋)	43
Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標	44-46
株主情報	47

グローバル規模を備えた環大西洋コンシューマー、ホールセール・バンク

2017 年度は税引前利益が改善し、CET1 資本比率が一段と上昇するなど、戦略の遂行が大幅に進展
2018 年度は配当水準を戻し、リターンの改善に一層注力することが可能に

<ul style="list-style-type: none"> リターン 	<ul style="list-style-type: none"> グループの税引前利益は 10%増の 35 億ポンド。株主帰属損失 19 億ポンド(2016 年: 16 億ポンドの利益)、有形株主資本利益率(RoTE)マイナス 3.6%(2016 年: プラス 3.6%)は以下を含む: <ul style="list-style-type: none"> 支払保障保険(PPI)に係る費用 7 億ポンドを含め、訴訟および特定行為に係る費用 12 億ポンド パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の持分削減に係る損失 25 億ポンド 2017 年度第 4 四半期に実施した米国繰延税金資産の再測定に伴う 1 回限りの税費用純額 9 億ポンド 上記の重要事項を除くと、グループの RoTE は 5.6% 普通株式 Tier1(CET1)資本比率を約 13%とし、訴訟および特定行為を除くグループの RoTE を 2019 年に 9%超、2020 年に 10%超とすることを目指す
<ul style="list-style-type: none"> 費用の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> グループの営業費用は訴訟および特定行為に係る費用 12 億ポンド(2016 年: 14 億ポンド)を含めて、155 億ポンドとなり(2016 年: 163 億ポンド)、収益に対する費用の比率は 73%に(2016 年: 76%) 訴訟および特定行為に係る費用を除くグループの営業費用は 142 億ポンドと 2017 年度の予測どおり 訴訟および特定行為を除くグループの営業費用の 2019 年度の予測は 136 億~139 億ポンド
<ul style="list-style-type: none"> 資本および配当 	<ul style="list-style-type: none"> CET1 資本比率は 13.3%に上昇し(2016 年 12 月: 12.4%)、最終目標レンジの約 13%に到達 剰余金の変動の悪影響と米国繰延税金資産の再測定の正味の影響により一部相殺されたものの、継続事業による本来的な資本の創出、BAGL の比例連結の効果、ノンコア部門の整理が改善につながる 2017 年度配当は 1 株当たり 3.0 ペンスと決定、2018 年度は 6.5 ペンスを支払う方針

- グループの税引前利益は 35 億 4,100 万ポンドと 10%増加しました。ノンコア部門に係る費用の減少を主に反映し、営業費用が 5%減と収益以上に減少したことを受けています。収益はパークレイズ・インターナショナルおよび本社の減収を主因に 2%減少しましたが、減損費用は概ね横ばいでした
 - パークレイズ UK の税引前利益は 17 億 4,700 万ポンドに増加しました(2016 年: 17 億 3,800 万ポンド)。収益の 2%の減少、減損費用の 13%の減少、PPI に係る費用 7 億ポンド(2016 年: 10 億ポンド)を含めた収益に対する費用の比率 66%(2016 年: 65%)を反映しています
 - パークレイズ・インターナショナルの税引前利益は 32 億 7,500 万ポンドに減少しました(2016 年: 42 億 1,100 万ポンド)。2017 年度下半期の市場環境の低迷がコーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)に与えた影響を主因に収益が 4%減少した一方、営業費用は 4%増加し、信用に関する減損費用は 11%増加したことを受けています
- グループの株主帰属損失 19 億 2,200 万ポンド(2016 年: 16 億 2,300 万ポンドの利益)は、BAGL の持分削減に係る損失 25 億 2,500 万ポンドと米国繰延税金資産の再測定に伴う 1 回限りの税費用純額 9 億 100 万ポンドを含みます
- グループの基本的 1 株当たり損失は 10.3 ペンスでした(2016 年: 1 株当たり 10.4 ペンスの利益)。訴訟および特定行為、BAGL の持分削減に係る損失、米国繰延税金資産の再測定に伴う費用純額を除くと、1 株当たり利益は 16.2 ペンスでした
- 1 株当たり正味有形資産価額は 276 ペンスに減少しました(2016 年 12 月: 290 ペンス)。2017 年度第 4 四半期の米国繰延税金資産再測定の正味の影響と剰余金変動の悪影響が税引前利益を上回ったためです

業績ハイライト

当グループの業績

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計	21,076	21,451	(2)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,336)	(2,373)	2
営業収益純額	18,740	19,078	(2)
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(13,884)	(14,565)	5
英国銀行税	(365)	(410)	11
訴訟および特定行為	(1,207)	(1,363)	11
営業費用	(15,456)	(16,338)	5
その他の収益純額	257	490	(48)
税引前利益	3,541	3,230	10
税金	(2,240)	(993)	
継続事業に係る税引後利益	1,301	2,237	(42)
非継続事業に係る税引後(損失)/利益	(2,195)	591	
継続事業に係る非支配持分	(249)	(346)	28
非継続事業に係る非支配持分	(140)	(402)	65
その他の株主 ¹	(639)	(457)	(40)
株主帰属(損失)/利益	(1,922)	1,623	

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ¹	(3.6%)	3.6%
平均有形株主資本(億ポンド)	489	487
収益に対する費用の比率	73%	76%
貸倒率(ベース・ポイント)	57	53
基本的1株当たり(損失)/利益 ¹	(10.3 ペンス)	10.4 ペンス
継続事業に係る基本的1株当たり利益 ¹	3.5 ペンス	9.3 ペンス
1株当たり配当金	3.0 ペンス	3.0 ペンス

貸借対照表および資本管理

1株当たりの正味有形資産価値	276 ペンス	290 ペンス
普通株式 Tier1 比率	13.3%	12.4%
普通株式 Tier1 資本(億ポンド)	416	452
リスク調整後資産(億ポンド)	3,130	3,660
平均英国レバレッジ比率 ²	4.9%	4.5%
完全施行ベースの平均 Tier1 資本 ² (億ポンド)	512	516
平均英国レバレッジ・エクスポージャー ² (億ポンド)	10,450	11,370

資金調達および流動性

グループ余剰流動性(億ポンド)	2,200	1,650
CRD IV 流動性カバレッジ比率	154%	131%
預貸率 ³	80%	89%

1 その他の株主に帰属する税引後利益 6 億 3,900 万ポンド(2016 年: 4 億 5,700 万ポンド)は、剰余金に計上する税額控除 1 億 7,400 万ポンド(2016 年: 1 億 2,800 万ポンド)によって相殺されます。相殺後残高である 4 億 6,500 万ポンド(2016 年: 3 億 2,900 万ポンド)は、非支配持分とともに、1 株当たり(損失)/利益および平均有形株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。

2 平均英国レバレッジ比率は当該四半期の各月の最終日の平均値に基づく自己資本およびエクスポージャー数値を使用して算出しています。また、平均エクスポージャー数値は適格中央銀行債権を除外しています。

3 預貸率は本社および利付き貸付金以外のインベストメント・バンキング業務残高を除きます。比較数値はインベストメント・バンキング業務の利付き貸付金残高を含めるよう修正再表示されています。

グループ最高責任者のレビュー

「パークレイズにとって、2017 年度は戦略の遂行が大きく進展した 1 年となりました。パークレイズ・アフリカの持分削減、ノンコア部門の閉鎖、サービス・カンパニーの創設、英国リングフェンス銀行の設立を経て、パークレイズは規模と構造の面で、2016 年 3 月に当グループの戦略で掲げた多角的な環大西洋コンシューマー、ホールセール・バンクになることができました。

当グループでは、収益性の高い事業ポートフォリオが高水準の利益を生んでおり、得られた利益を時間とともにさらに拡大していくための計画や投資も整っています。

2017 年に取り組んだ施策の効果は既に一部表れ始めています。業務の執行に注力した結果、グループ税引前利益は前年比 10% 増加しました。パークレイズ UK は 2017 年の舵取りが順調に進み、デジタル・バンキングで利用者が 1,000 万人に達するという大きな節目を迎えました。パークレイズ・インターナショナルでは、コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)が 2017 年のバンキング業務手数料シェアを伸ばし、コンシューマー、カードおよび決済事業もリスクを効率的に管理しつつ、非常に高い収益を上げ続けました。

2018 年度第 1 四半期に入り、まだ 7 週間しか経過しておらず、正式な予測を提示するには早すぎますが、当グループは好調な滑り出しを切り、特に CIB では市場業務収益が、足元で進んでいるドル安にもかかわらず、ドル建てだけでなく、英ポンド建てでも 2017 年の同時期の水準を上回っています。

極めて重要な点として、当グループは事業再編に取り組みつつ、本来的な資本を創出し続けてまいりました。現在、グループの普通株式 Tier1 (CET1) 資本比率は 13.3%と、最終目標レンジに十分届いています。

過去の一連の特定行為の問題の決着という課題がまだ残っていますが、私は当グループの事業が今後、余剰資本を創出していく力に自信を持っています。配当ならびに自社株買いをはじめとする他の資本分配策を通じて、株主の皆さまに還元する余剰資本の割合を高めていく方針は今後も変更はありません。

こうした方針を具体化する最初の施策として、当グループは本日、2018 年に 6.5 ペンスの配当水準に戻すことを発表します。」

グループ最高責任者

ジェイムズ・E・ステイリー

グループ財務担当取締役のレビュー

2017年度の業績は、税引前利益が増加し、収益に対する費用の比率は低下し、資本比率に大幅な進展が見られるなど、良好な結果となりました。パークレイズ・ノンコア部門の閉鎖、BAGL に対する持分削減とそれに伴う BAGL の会計上の非連結化が実現し、戦略目標の達成も 2017 年に大きく進展しました。新たなグループの目標リターンを策定しました。CET1 資本比率を約 13%とし、訴訟および特定行為を除いたグループの RoTE を 2019 年に 9%超、2020 年に 10%超とすることを目指します。2017 年度の業績はこれらの目標の達成に向けて前進していくための確かな基盤となります。

ノンコア部門を 2017 年 7 月 1 日付で閉鎖したことから、2017 年度のグループ決算には 2017 年 6 月 30 日に終了した 6 か月間のノンコア部門の税引前損失 6 億 4,700 万ポンドが含まれています。なお、2016 年度のノンコア部門の税引前損失は 27 億 8,600 万ポンドでした。2017 年 7 月 1 日からは、ノンコア残余資産および負債はパークレイズ UK、パークレイズ・インターナショナル、本社に再統合されたことから、再統合した各部門が関連する財務パフォーマンスを報告します。

グループの業績

- 税引前利益は収益の 2%の減少ならびにその他の収益純額の減少により一部相殺されたものの、営業費用が 5%減少したのを受けて 35 億 4,100 万ポンドと 10%増加しました。グループ決算では、英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートがそれぞれ 2016 年と比べて 5%、7%上昇したことが収益に好影響を与える一方で、減損費用と営業費用に悪影響を与えました
- 収益合計は 210 億 7,600 万ポンドに減少しました(2016 年: 214 億 5,100 万ポンド)。ノンコア部門に係る損失の減少により一部相殺されたものの、パークレイズ・インターナショナルの 6 億 1,300 万ポンドの減少と本社の 2 億 6,200 万ポンドの減少を反映しています
- 信用に関する減損費用は 23 億 3,600 万ポンドと概ね横ばいでした(2016 年: 23 億 7,300 万ポンド)。米国カードにおける資産売却に係る繰延支払いに関連して 2017 年度に計上した費用 1 億 6,800 万ポンド、経営陣による英国および米国カード・ポートフォリオ減損モデルの見直しを受けて 2016 年度に計上した 3 億 2,000 万ポンドの費用が当期には発生しなかった影響を反映しています。パークレイズ・インターナショナルの減損は米国カードの基礎的な延滞率の動向の悪化ならびに事業の拡大を受けて増加しました。グループの貸倒率は 4 ベーシス・ポイント上昇して、57 ベーシス・ポイントとなりました
- 営業費用は 154 億 5,600 万ポンドと 5%減少しました。ノンコア部門に係る営業費用の減少を主に受けています。収益に対する費用の比率は 73%に低下しました(2016 年: 76%)
- その他の収益純額 2 億 5,700 万ポンド(2016 年: 4 億 9,000 万ポンド)はパークレイズが保有するボーカリンク株のマスターカードへの売却益 1 億 900 万ポンドと日本の合併事業の売却益 7,600 万ポンドを主に反映しています
- 継続事業に係る税引後利益は 13 億 100 万ポンドでした(2016 年: 22 億 3,700 万ポンド)。税金 22 億 4,000 万ポンドは米国税制改正法(US Tax Cuts and Jobs Act)の成立を受けた米国繰延税金資産の再測定に伴う 1 回限りの税費用 11 億 7,700 万ポンドを含みますが、パークレイズ・バンク・ピーエルシー(BBPLC)の米国支店で別途行った繰延税金資産の再測定に伴う米国繰延税金資産の 2 億 7,600 万ポンドの増加により一部相殺されました
- アフリカ・バンキングの非継続事業に係る税引後損失 21 億 9,500 万ポンドは、会計上の非連結化に伴い、為替換算再評価差額の損失を損益計算書上の損益に振り替えたことを主因とするパークレイズの BAGL に対する持分の減損 10 億 9,000 万ポンドと BAGL の 33.7%の発行済株式資本の売却損 14 億 3,500 万ポンドを含みます
- RoTE はマイナス 3.6%(2016 年: プラス 3.6%)、基本的 1 株当たり損失は 10.3 ペンスでした(2016 年: 1 株当たり 10.4 ペンスの利益)。訴訟および特定行為、BAGL の持分削減に係る損失、米国繰延税金資産の再測定に伴う 1 回限りの費用純額を除くと、RoTE は 5.6%、1 株当たり利益は 16.2 ペンスでした
- 事業部門別業績の詳細については、英語原文の 8~14 ページをご参照ください

グループの資本およびレバレッジ

- 完全施行ベースの CET1 資本比率は 13.3%に上昇しました(2016 年 12 月: 12.4%)。リスク調整後資産が 526 億ポンド減少して 3,130 億ポンドとなったことが主因です。CET1 資本は 36 億ポンド減少し 416 億ポンドとなりました
 - 規制上の比例連結につながったパークレイズの 14.9%への BAGL 持分削減は CET1 資本比率を約 60 ベーシス・ポイント上昇させ、リスク調整後資産を 311 億ポンド減少させましたが、BAGL 少数株主持分が CET1 資本に計上されなくなったことによる 18 億ポンドの減少により相殺されました
 - のれんに割り当てられるパークレイズの BAGL 持分の減損および BAGL の為替換算再評価差額の損失を損益計算書の損益に振り替えたことに伴う非継続事業に係る損失は CET1 資本に影響しませんでした
 - 外国為替の変動の影響を除き、ノンコア部門における減少を含む、その他のリスク調整後資産の減少の結果、CET1 資本比率はさらに約 50 ベーシス・ポイント上昇しました
 - BAGL および外国為替の変動の影響を除いた CET1 資本はさらに減少しました。米ドル建て優先株の償還および年金積立不足を補填する当年度の拠出が米国繰延税金資産再測定の正味の影響吸収後の継続事業に係る利益を相殺したためです
- 平均英国レバレッジ比率は 4.9%に上昇しました(2016 年 12 月: 4.5%)。これは追加的 Tier1(AT1)証券の発行、ノンコア部門減少に係るエクスポージャーの減少および BAGL の規制上の比例連結が主因です
- 1 株当たり正味有形資産価値は、2017 年度第 4 四半期の米国繰延税金資産再測定の正味の影響および剰余金変動の悪影響が税引後利益を上回ったことを主因として、276 ペンスに減少しました(2016 年 12 月: 290 ペンス)

グループの資金調達および流動性

- 当グループは内部および規制上の要件を上回る流動性を維持しました。余剰流動性は 2,200 億ポンドに増加しました(2016 年 12 月: 1,650 億ポンド)。これは慎重な流動性ポジションを保有するというアプローチおよび正味預金の増加、ノンコア部門のレガシー・ポートフォリオの解消、短期金融市場の借入およびイングランド銀行ターム資金調達スキームによる資金調達を反映したものです。流動性カバレッジ比率(LCR)は 154%に上昇しました(2016 年 12 月: 131%)。これは 100%に対して 750 億ポンドの余剰に相当します(2016 年 12 月: 390 億ポンド)
- ホールセール資金調達残高(レポ取引を除く)は 1,570 億ポンドでした(2016 年 12 月: 1,580 億ポンド)。当グループはパークレイズ・ピーエルシー(親会社)を通じて資本性商品およびターム・シニア無担保債 115 億ポンド相当を発行、このうち、61 億ポンドは公募シニア無担保債、54 億ポンドは資本性商品でした。同期間に、利率 7.1%の第 3 回米ドル建優先株式 13 億 7,500 万ドルを含む、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの資本性商品および公募シニア・ターム商品 61 億ポンドが満期となり、または償還されました

その他の事項

- パークレイズは 2017 年 6 月 1 日、BAGL の普通株式 2 億 8,600 万株(BAGL の発行済株式資本の 33.7%に相当)を売却しました。売却の結果、BAGL はパークレイズ・グループから会計上、非連結化されました。これに伴い、BAGL は非継続事業として報告されず、残存する持分はパークレイズの財務書類において売却可能資産として会計処理されています。2017 年度第 3 四半期にさらに BAGL の 1.5%の普通株式を黒人の経済力強化(Black Economic Empowerment)スキームに拠出したことにより、パークレイズが引き続き保有する BAGL の普通株式は 1 億 2,600 万株(BAGL の発行済株式資本の 14.9%に相当)となりました。規制当局に報告する目的上、BAGL は比例連結ベースで処理されています
- 2017 年度第 4 四半期のパークレイズの測定による米国繰延税金資産は 9 億ポンド減少しました。これは 2017 年 12 月 22 日に成立した米国税制改正法による 12 億ポンドの減少が主因です。パークレイズ・バンク・ピーエルシー(BBPLC)の米国支店の繰延税金資産の再測定による 3 億ポンドの増加で部分的に相殺されましたが、これは BBPLC が同期間に英国課税から海外支店の将来損益を除外するために租税選択を行ったことが理由です。米国繰延税金資産の測定の正味の減少により、当グループの税引後利益に対する 1 度限りの正味費用は 9 億ポンドとなり、グループの CET1 資本比率を約 20 ペーシスポイント、1 株当たりの正味有形資産価値を 5 ペンスそれぞれ低下させました
- PPI に係る費用 7 億ポンドを 2017 年度第 2 四半期に追加計上しました(2016 年: 10 億ポンド)。2017 年 12 月 31 日現在の PPI に関連する引当金の残高は 16 億ポンドでした(2016 年 12 月: 20 億ポンド)。経営陣は現在の PPI 引当金を適正と考えていますが、引き続き請求の動向およびそれに関連する引当金の適切性を注意深く監視します
- 外国為替に関連する引当金 2 億 4,000 万ポンドが 2017 年度第 4 四半期に認識されました
- 英国重大不正捜査局(SFO)は 2017 年 6 月、2008 年のパークレイズによる資金調達で発生した事項に関連してパークレイズ・ピーエルシーを告訴しました。これに続いて、SFO は 2018 年 2 月にこの問題でパークレイズ・バンク・ピーエルシーを告訴しました
- 過去に発生した問題に関連する特定の法的手続きおよび調査は決着していません。未決着の旧来の問題を適切な期間内に適切な方法で解決することは引き続き優先課題です

国際財務報告基準(IFRS)第 9 号「金融商品」¹

- IFRS 第 9 号「金融商品」は 2018 年 1 月 1 日以降に開始する事業年度から適用されます。IFRS 第 9 号の影響で当グループの税引後の株主資本は約 22 億ポンド減少すると推定されます。これは 1 株当たり正味有形資産価値約 13 ペンスの減少に相当します
- IFRS 第 9 号の適用により、当グループの普通株式 Tier1(CET1)比率は主として税金控除後の信用に関する減損引当金の増加による影響を受けますが、予想損失額が減損を上回る場合の規制上の控除の減少によって一部相殺されます
- 2018 年 1 月 1 日現在、経過措置がとられない場合、完全施行ベースの CET1 資本比率は約 34 ペーシスポイント低下すると推定されます。当グループは経過措置を使用する意向で、その場合の 2018 年 1 月 1 日現在の影響は軽微であり、2018 年度中の影響は引き続き重要でないと言われます

1 注釈:

- 株主資本の減少の見積りは、2017 年 12 月 31 日現在の IAS 第 39 号に基づく場合と比較した、貸借対照表の分類と測定に関する変更と信用に関する減損引当金の増加を含んでいます。
- この影響の評価は、引き続き検証されているモデルでの暫定的な管理環境下での見積り数値です。包括的な最終状態の管理環境を導入し継続することで、パークレイズは 2018 年を通して平常管理を行います。

グループ財務担当取締役のレビュー

構造改革

- 英国のリングフェンス銀行に関するバークレイズの計画は引き続き順調に進捗しています。2017年11月にはこの計画に関連する裁判所の手続きが開始されました。2018年2月26日と27日にはサンクション・ヒアリングが予定されており、そこでバークレイズのリングフェンス銀行移管スキームを認可することを裁判所に求めるとみられます。バークレイズは2019年1月1日の法定実施期限に先立って再編を完了し、2018年4月に英国リングフェンス銀行を設立する意向です
- バークレイズ・サービス・リミテッド(「グループのサービス会社」)は、グループ全体の事業活動の継続性と業務効率の向上を実現するため、バークレイズ・ピーエルシーの直接子会社として2017年9月に設立されました
- バークレイズ・バンク UK ピーエルシー(BBUKPLC)およびバークレイズ・バンク・ピーエルシー(BBPLC)のプロ・フォーマベースの財務情報(未監査)は home.barclays/annualreport よりご覧いただけます

配当金

- 2017年度の最終配当として1株当たり2.0ペンスを2018年4月5日にお支払いします。年間の配当金は合計で1株当たり3.0ペンスとなります
- バークレイズは、株主の皆さまにとって普通配当が持つ重要性を理解していることから、株主への現金還元総額、事業への投資と強固な資本基盤の維持の間の適切なバランスの維持に取り組んでいます。バークレイズは今後、こうした目標とグループの中期的な収益見通しを考慮した年間普通配当をお支払いする方針です。また、取締役会は、普通配当と併せ、追加的な株主還元を適宜実施していく考えです
- 2018年度については、バークレイズは規制当局の承認を得た上で、総額1株当たり6.5ペンスの現金配当を再開する計画です

見通しおよび財務目標

- 当グループは、CET1資本比率を約13%とし、訴訟および特定行為を除いたグループのRoTEを2019年に9%超、2020年に10%超とすることを目指します
- 2019年度のグループの営業費用の予測は、訴訟および特定行為を除き、136億~139億ポンドです
- 米国税制改正法の一環として、2018年1月1日付で、米国の連邦法人税率が35%から21%に引き下げられました。当グループの米国事業の規模の大きさを踏まえると、これを受け、2018年度以降のグループの実効税率は20%台半ばまで低下することが予想されます。同法に基づき導入された一部の米国税法規定は複雑で、特に新設された税源浸食・濫用防止税(BEAT)が不確実性をもたらしています。現時点では、当グループでBEATに係る負債が発生した場合、グループの実効税率が20%台半ばを超えるほどの重要な影響を及ぼすことはないだろうと当グループでは考えています

グループ財務担当取締役 トゥーシャー・モーザリア

事業部門別業績

パークレイズ UK

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	6,086	6,048	1
手数料収入純額およびその他の収益	1,297	1,469	(12)
収益合計	7,383	7,517	(2)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(783)	(896)	13
営業収益純額	6,600	6,621	-
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(4,030)	(3,792)	(6)
英国銀行税	(59)	(48)	(23)
訴訟および特定行為	(759)	(1,042)	27
営業費用	(4,848)	(4,882)	1
その他の費用純額	(5)	(1)	
税引前利益	1,747	1,738	1
株主帰属利益	853	828	3
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,838	1,664	
資産合計	2,374	2,096	
顧客預り金	1,934	1,890	
預貸率	95%	88%	
リスク調整後資産	709	675	
期末割当有形株主資本	96	85	
重要事項			
住宅ローンポートフォリオの平均 LTV ¹	48%	48%	
新規住宅ローン貸出の平均 LTV ¹	64%	63%	
支店数	1,208	1,305	
モバイル・バンキング顧客数	640 万人	540 万人	
30日超延滞率 - パークレイカード・コンシューマーUK	1.8%	1.9%	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	9.8%	9.6%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	91	89	
収益に対する費用の比率	66%	65%	
貸倒率(ベース・ポイント)	42	52	
純利ざや	3.49%	3.62%	

¹ 住宅ローンポートフォリオの平均 LTV および新規住宅ローン貸出の平均 LTV は金額を加重平均して計算しています。

事業部門別業績

パークレイズ UK の内訳

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計の内訳			
パーソナル・バンキング	3,823	3,891	(2)
パークレイカード・コンシューマーUK	1,977	2,022	(2)
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	1,583	1,604	(1)
収益合計	7,383	7,517	(2)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額の内訳			
パーソナル・バンキング	(222)	(183)	(21)
パークレイカード・コンシューマーUK	(541)	(683)	21
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	(20)	(30)	33
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額合計	(783)	(896)	13
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
パーソナル・バンキング	1,398	1,350	
パークレイカード・コンシューマーUK	164	165	
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング ¹	276	149	
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,838	1,664	
顧客預り金の内訳			
パーソナル・バンキング	1,411	1,393	
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	523	497	
顧客預り金合計	1,934	1,890	

¹ ノンコア部門からの教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオ(償却原価ベース)の統合を含みます。

2017 年度と 2016 年度の比較

損益計算書

- 税引前利益は 17 億 4,700 万ポンドと 1%増加しました。PPIに係る費用が 7 億ポンドに減少し(2016 年: 10 億ポンド)、信用に関する減損費用も減少しましたが、2016 年度に計上したパークレイズが保有するビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益が当期には発生しなかったこと、リングフェンス銀行設立費用の増加、ならびに主にサイバー攻撃耐性強化、デジタル、技術への投資により一部相殺されました
- 収益合計は 2%減少し、73 億 8,300 万ポンドとなりました。うち、1 億 5,100 万ポンドは 2016 年度に計上したパークレイズが保有するビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益が当期には発生しなかったことを反映しています
 - パーソナル・バンキングの収益は 2%減の 38 億 2,300 万ポンドでした。預金のプライシングに関連する取り組み、残高の増加、ならびに実効金利(EIR)モデルの更新により一部相殺されたものの、ビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益が当期には発生しなかったことおよび 2016 年の英国基準金利引き下げの影響を受けています
 - パークレイカード・コンシューマーUKの収益は 2017 年度下半期の健全化引当金繰入れを反映し、2%減の 19 億 7,700 万ポンドでした
 - ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング(WEBB)の収益は 1%減の 15 億 8,300 万ポンドでした。残高の増加により一部相殺されたものの、ビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益が当期には発生しなかったことを受けています
 - 利息収入純額は 1%増の 60 億 8,600 万ポンドでした。2016 年の英国基準金利引き下げの影響により一部相殺されたものの、預金のプライシングに関連する取り組み、ならびに顧客に対する貸付金および預金の残高の増加を受けています
 - 純利ざやば、ノンコア部門にあった教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオを 2017 年 7 月 1 日付で統合したことを反映し、13 ベーシス・ポイント低下し、3.49%となりました
 - 手数料収入純額およびその他の収益はビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益が当期には発生しなかったことを受け、12%減の 12 億 9,700 万ポンドとなりました
- 信用に関する減損費用は 13%減少して 7 億 8,300 万ポンドとなりました。パークレイカード・コンシューマーUK およびパーソナル・バンキングにおける償却の増加により一部相殺されましたが、経営陣によるカード・ポートフォリオ減損モデルの見直しを受けて 2016 年度に計上した 2 億ポンドの費用が当期には発生しなかったことを主に反映しています
- 営業費用は 1%減少して 48 億 4,800 万ポンドとなりました。リングフェンス銀行設立費用ならびに主にサイバー攻撃耐性強化、デジタル、技術への投資の拡大により一部相殺されましたが、PPIに係る費用の 7 億ポンドへの減少(2016 年: 10 億ポンド)を受けています。収益に対する費用の比率は 66%でした(2016 年: 65%)

貸借対照表

- 顧客に対する貸付金は 10%増加して 1,838 億ポンドとなり、資産合計は 13%増加して 2,374 億ポンドとなりました。2017 年 7 月 1 日付でノンコア部門にあった ESHLA ポートフォリオを WEBB に統合したこととパーソナル・バンキングにおける 2017 年度下半期の住宅ローンの増加を反映しています
- 顧客預り金は 2%増加して 1,934 億ポンドとなりました。構造改革に備えてパークレイズ UK とパークレイズ・インターナショナルの間で特定の顧客を組み替えたことにより一部相殺されましたが、預金の増加を受けています
- リスク調整後資産は ESHLA ポートフォリオの統合を反映し、709 億ポンドに増加しました(2016 年 12 月: 675 億ポンド)

事業部門別業績

パークレイズ・インターナショナル

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	4,307	4,512	(5)
トレーディング収益純額	3,971	4,580	(13)
手数料収入純額およびその他の収益	6,104	5,903	3
収益合計	14,382	14,995	(4)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1,506)	(1,355)	(11)
営業収益純額	12,876	13,640	(6)
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(9,321)	(9,129)	(2)
英国銀行税	(265)	(284)	7
訴訟および特定行為	(269)	(48)	
営業費用	(9,855)	(9,461)	(4)
その他の収益純額	254	32	
税引前利益	3,275	4,211	(22)
株主帰属利益	847	2,412	(65)
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	1,987	2,113	
トレーディング・ポートフォリオ資産	1,130	732	
デリバティブ金融資産	2,362	1,562	
デリバティブ金融負債	2,378	1,606	
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	124	134	
公正価値で測定すると指定された金融資産	1,041	623	
資産合計	8,561	6,485	
顧客預り金 ²	2,251	2,162	
預貸率 ³	62%	78%	
リスク調整後資産	2,103	2,127	
期末割当有形株主資本	275	256	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	3.4%	9.8%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	281	255	
収益に対する費用の比率	69%	63%	
貸倒率(ベース・ポイント)	75	63	
純利ざや	4.16%	3.98%	

1 2017年12月31日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金1,704億ポンド(2016年12月:1,859億ポンド)(決済残高157億ポンド(2016年12月:195億ポンド)および現金担保359億ポンド(2016年12月:301億ポンド)を含む)および銀行に対する貸付金283億ポンド(2016年12月:254億ポンド)(決済残高23億ポンド(2016年12月:17億ポンド)および現金担保180億ポンド(2016年12月:63億ポンド)を含む)で構成されています。コンシューマー、カード&決済事業に係る銀行および顧客に対する貸付金は386億ポンド(2016年12月:397億ポンド)でした。

2 2017年12月31日現在の顧客預り金には決済残高152億ポンド(2016年12月:166億ポンド)および現金担保273億ポンド(2016年12月:208億ポンド)が含まれています。

3 預貸率は利付き貸付金以外のインベストメント・バンキング業務残高を除きます。比較数値はインベストメント・バンキング業務の利付き貸付金残高を含めるよう修正再表示されています。

事業部門別業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB) 損益計算書関連の情報	2017年	2016年	増減率 (%)
	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	
マクロ	1,634	2,304	(29)
クレジット	1,241	1,185	5
株式	1,629	1,790	(9)
市場	4,504	5,279	(15)
バンキング手数料	2,612	2,397	9
コーポレート貸付	1,093	1,195	(9)
トランザクション・バンキング	1,629	1,657	(2)
バンキング	5,334	5,249	2
その他	40	5	
収益合計	9,878	10,533	(6)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(213)	(260)	18
営業費用	(7,742)	(7,624)	(2)
その他の収益純額	133	1	
税引前利益	2,056	2,650	(22)

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,601	1,716
顧客預り金	1,659	1,662
リスク調整後資産	1,762	1,786

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	1.1%	6.1%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	240	219

コンシューマー、カードおよび決済事業

損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)
	収益合計	4,504	4,462
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1,293)	(1,095)	(18)
営業費用	(2,113)	(1,837)	(15)
その他の収益純額	121	31	
税引前利益	1,219	1,561	(22)

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	386	397
顧客預り金	592	500
リスク調整後資産	341	341

重要事項

30日超延滞率 - パークレイカード US	2.6%	2.6%
パークレイカード顧客数合計	366,000	355,000
決済処理額(億ポンド)	3,220	2,960

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	16.7%	31.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	42	36

2017 年度と 2016 年度の比較

損益計算書

- 税引前利益は収益合計の 4%の減少、信用に関する減損費用の 11%の増加、営業費用の 4%の増加を反映して、22%減少して 32 億 7,500 万ポンドとなりました
- 収益合計は英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートがそれぞれ 5%、7%上昇した影響を含め、4%減少して 143 億 8,200 万ポンドとなりました。コンシューマー、カードおよび決済事業の収益が 1%増の 45 億 400 万ポンドとなったことで一部相殺されたものの、CIB の収益が 6%減の 98 億 7,800 万ポンドとなったためです
 - － 市場業務の収益は 15%減少し、45 億 400 万ポンドとなりました
 - － 金利市場のボラティリティの低下、エネルギー関連コモディティ業務からの撤退、ならびに 2017 年 7 月 1 日付のノンコア資産の統合の影響を受けて、マクロの収益は 29%減の 16 億 3,400 万ポンドとなりました
 - － クレジットの収益は地方債のパフォーマンスの改善を受けて 5%増の 12 億 4,100 万ポンドとなりました
 - － 株式の収益はエクイティ・ファイナンスのパフォーマンスの改善により一部相殺されましたが、市場のボラティリティの低下を受けた米国株式デリバティブの減収により、9%減少して 16 億 2,900 万ポンドとなりました
 - － バンキング業務の収益は 2%増加し、53 億 3,400 万ポンドとなりました
 - － バンキング手数料収入は債券引受と株式引受の各手数料の増加を受けて 9%増加して 26 億 1,200 万ポンドとなり、バンキング業務全体および債券引受の手数料のシェアが伸びました
 - － コーポレート貸付は 9%減の 10 億 9,300 万ポンドとなりました。構造改革に備えてパークレイズ UK とパークレイズ・インターナショナルの間で特定の顧客の組み替えを行ったことに伴う貸付金残高の減少、CIB でのリスク調整後資産の再配分のほか、前年度に計上した財務活動の収益が当期には発生しなかったことと債権処理による利益の減少を受けています
 - － トランザクション・バンキングの収益は、平均預金残高の増加により一部相殺されましたが、取引残高の減少と前年度に計上した財務活動の収益が当期には発生しなかったことを受けて 2%減の 16 億 2,900 万ポンドとなりました
 - － コンシューマー、カードおよび決済事業の収益は 1%増の 45 億 400 万ポンドとなりました。2016 年度に計上したパークレイズが保有するビザ・ヨーロッパ・リミテッド株の売却益 4 億 6,400 万ポンドが当期には発生しなかったことにより一部相殺されましたが、持続的な事業の成長、米国カード事業における 2017 年度第 1 四半期の資産売却に関わる利益 1 億 9,200 万ポンド、パークレイズが保有するビザ・インク優先株の評価益 7,400 万ポンドを受けています
- 信用に関する減損費用は英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートが上昇した影響を含め、11%増加し、15 億 600 万ポンドとなりました
 - － CIB の信用に関する減損費用は 18%減少し、2 億 1,300 万ポンドとなりました。2017 年度に発生したシングルネームに関連する費用により相殺されたものの、石油およびガス・セクターのシングルネームに関連する減損が当期には発生しなかったことを主に受けています
 - － コンシューマー、カードおよび決済事業の信用に関する減損費用は 18%増加して 12 億 9,300 万ポンドとなりました。米国カード事業における 2017 年度第 1 四半期の資産売却の繰延支払いに関連して 2017 年度第 3 四半期に計上した費用 1 億 6,800 万ポンド、米国カードの基礎となる延滞率の動向の悪化ならびに事業の拡大を受けていますが、経営陣によるカード・ポートフォリオ減損モデルの見直しを受けて 2016 年度に計上した 1 億 2,000 万ポンドの費用が当期には発生しなかったことにより一部相殺されました。米国カード事業における 30 日超および 90 日超延滞率は米国カード事業における 2017 年度第 1 四半期の資産売却の効果を含め、それぞれ 2.6%(2016 年 12 月: 2.6%)、1.3%(2016 年 12 月: 1.3%)と横ばいでした
- 営業費用は英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートが上昇した影響を含め、4%増加して 98 億 5,500 万ポンドとなりました
 - － CIB の営業費用は 2%増加して 77 億 4,200 万ポンドとなりました。事業再編費用の減少と 2016 年度第 4 四半期に実施した報奨付与に係る変更の影響の軽減により一部相殺されたものの、2017 年度第 4 四半期に計上した為替に係る引当金 2 億 4,000 万ポンド、技術への持続的な投資を反映しています
 - － コンシューマー、カードおよび決済事業では、主に米国カード事業および加盟店獲得事業における持続的な成長と投資を反映し、15%増加して 21 億 1,300 万ポンドとなりました
- その他の収益純額はパークレイズが保有するボーカリンク株のマスターカードへの売却益 1 億 900 万ポンドと日本の合併事業の売却益 7,600 万ポンドを受け、2 億 5,400 万ポンドに増加しました(2016 年: 3,200 万ポンド)
- 株主帰属利益は 2017 年度第 4 四半期の米国繰延税金資産の再測定に伴う税費用純額を含め、8 億 4,700 万ポンドに減少しました(2016 年: 24 億 1,200 万ポンド)

貸借対照表

- 銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)は 126 億ポンド減少して 1,987 億ポンドとなり、CIB では貸付の減少により 115 億ポンド減少して 1,601 億ポンドとなりました。コンシューマー、カードおよび決済事業では、構造改革に備えてパークレイズ UK からパークレイズ・インターナショナルに特定の顧客を組み替えたことにより一部相殺されたものの、期末時の英ポンドに対する米ドルの下落を受けて 11 億ポンド減少して 386 億ポンドとなりました
- トレーディング・ポートフォリオ資産は活動の増加を受けて 398 億ポンド増加し、1,130 億ポンドとなりました
- デリバティブ金融商品の資産と負債はそれぞれ 800 億ポンド増の 2,362 億ポンド、772 億ポンド増の 2,378 億ポンドとなりました。シカゴ・マーカント取引所(CME)における日次決済の適用、主要金利フォワード・カーブの上昇、ならびに期末時の英ポンドに対する米ドルの下落により一部相殺されたものの、2017 年 7 月 1 日付でノンコア部門の残高を統合したことを反映しています
- 公正価値で測定すると指定された金融資産はリバース・レポ取引活動の増加を主に受け、418 億ポンド増加し、1,041 億ポンドとなりました
- 顧客預り金は 89 億ポンド増加し、2,251 億ポンドとなりました。コンシューマー、カードおよび決済事業では、構造改革に備えて特定の顧客をパークレイズ UK からパークレイズ・インターナショナルに組み替えたことを受けて 92 億ポンド増加し、592 億ポンドとなりました
- リスク調整後資産はトレーディング・ポートフォリオおよび証券金融取引高の増加により一部相殺されたものの、米国繰延税金資産の再測定の正味の影響と期末時の英ポンドに対する米ドルの下落を受け、24 億ポンド減少し、2,103 億ポンドとなりました

事業部門別業績

本社

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	(435)	(183)	
手数料収入純額およびその他の収益 ¹	276	286	(3)
収益合計	(159)	103	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(17)	-	
営業(費用)／収益純額	(176)	103	
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(277)	(135)	
英国銀行税	(41)	(2)	
訴訟および特定行為	(151)	(27)	
営業費用	(469)	(164)	
その他の(費用)／収益純額	(189)	128	
税引前(損失)／利益	(834)	67	
株主帰属(損失)／利益	(868)	110	
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
資産合計	397	752	
リスク調整後資産 ²	318	533	
期末割当有形株主資本	100	97	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本(億ポンド)	93	65	

2017年度と2016年度の比較

損益計算書

- 税引前損失は8億3,400万ポンドでした(2016年:6,700万ポンドの利益)
- 収益合計は減少し、1億5,900万ポンドの損失となりました(2016年:1億300万ポンドの収益)。財務活動からの収益純額の減少を主に反映しています
- 営業費用は4億6,900万ポンドに増加しました(2016年:1億6,400万ポンド)。2017年7月1日付で統合されたノンコア資産および事業に関連する費用、米国連邦エネルギー規制委員会執行局が提起した民事訴訟の解決に向けた合意ならびにその他の旧来からの補償引当金を含む訴訟および特定行為に係る費用の増加を受けています
- その他の費用純額は1億8,900万ポンドでした(2016年:1億2,800万ポンドの収益)。パークレイズ・バンク・エジプト売却に伴い為替換算再評価差額を損益計算書上の損失に振り替えたことによる1億8,000万ポンドの費用を受けています。2016年度は南欧カード事業の売却に伴う為替換算再評価益が含まれていました

貸借対照表

- 資産合計は397億ポンドに減少しました(2016年12月:752億ポンド)。資産合計の650億ポンドを占めていたBAGLが会計上、パークレイズ・グループから非連結化されたことを主に受けていますが、イタリアの住宅ローンに関連する約90億ポンドを含むノンコア資産の2017年7月1日付の統合により一部相殺されました
- リスク調整後資産はノンコア資産の統合により一部相殺されましたが、BAGLの比例連結に伴う311億ポンドの減少を反映し、318億ポンドに減少しました(2016年12月:533億ポンド)

¹ 2017年1月1日付で当グループ自身の信用度に関連する損益に係るIFRS第9号の規定を早期適用したことに伴い、従来、手数料収入純額およびその他の収益に計上されていた当グループ自身の信用度に関連する損益は現在はその他の包括利益に計上されています。手数料収入純額およびその他の収益の比較値は当グループ自身の信用度が含まれたものです。

² アフリカ・バンキングのリスク調整後資産64億ポンド(2016年12月:423億ポンド)が含まれています。

パークレイズ・ノンコアの業績

ノンコア部門は 2017 年 7 月 1 日付で閉鎖されました。残余資産および負債はパークレイズ UK、パークレイズ・インターナショナル、本社に再統合されたことから、再統合した各部門が関連する財務パフォーマンスを報告します。2017 年 6 月 30 日までの業績は 2017 年 12 月 31 日に終了した事業年度のグループの業績に反映されています

パークレイズ・ノンコア

	2017 年 6 月 30 日に 終了した 6 か月間 (百万ポンド)	2016 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)
損益計算書関連の情報		
利息収入純額	(112)	160
トレーディング収益純額	(488)	(1,703)
手数料収入純額およびその他の収益	70	379
収益合計	(530)	(1,164)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(30)	(122)
営業費用純額	(560)	(1,286)
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(256)	(1,509)
英国銀行税	-	(76)
訴訟および特定行為	(28)	(246)
営業費用	(284)	(1,831)
その他の収益純額	197	331
税引前損失	(647)	(2,786)
株主帰属損失	(419)	(1,916)

	2017 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2016 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2016 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2016 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2016 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	-	-	(123)	11	(54)	78	40	96
トレーディング収益純額	-	-	(411)	(77)	(462)	(288)	(463)	(490)
手数料収入純額およびその他の収益	-	-	78	(8)	97	51	79	152
収益合計	-	-	(456)	(74)	(419)	(159)	(344)	(242)
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	-	-	(27)	(3)	(47)	(20)	(26)	(29)
営業費用純額	-	-	(483)	(77)	(466)	(179)	(370)	(271)
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	-	-	(108)	(148)	(341)	(311)	(368)	(489)
英国銀行税	-	-	-	-	(76)	-	-	-
訴訟および特定行為	-	-	(19)	(9)	(51)	(102)	(27)	(66)
営業費用	-	-	(127)	(157)	(468)	(413)	(395)	(555)
その他の収益／(費用)純額	-	-	204	(7)	146	498	(324)	11
税引前損失	-	-	(406)	(241)	(788)	(94)	(1,089)	(815)
税金還付	-	-	207	75	322	194	229	237
税引後(損失)／利益	-	-	(199)	(166)	(466)	100	(860)	(578)
非支配持分	-	-	(8)	(9)	(14)	(13)	(12)	(10)
その他の株主	-	-	(19)	(18)	(18)	(15)	(15)	(15)
株主帰属(損失)／利益	-	-	(226)	(193)	(498)	72	(887)	(603)

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	-	-	483	495	511	587	685	554
デリバティブ金融資産	-	-	1,503	1,642	1,887	2,532	2,628	2,497
デリバティブ金融負債	-	-	1,430	1,553	1,786	2,430	2,534	2,391
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	-	-	-	-	1	1	1	7
公正価値で測定すると指定された金融資産	-	-	121	134	145	155	154	234
資産合計	-	-	2,330	2,491	2,797	3,598	3,791	3,654
顧客預り金	-	-	118	129	125	160	174	193
リスク調整後資産	-	-	228	274	321	439	467	509

非継続事業の業績

パークレイズは2016年3月1日、当グループの保有するパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に対する62.3%の持分を、会計上および規制上の観点からBAGLの非連結化が可能となる水準まで削減する意向を発表し、この日をもってBAGLは非継続事業として扱われました。パークレイズは2016年5月5日に当グループの保有するBAGLに対する持分の12.2%を売却し、2017年6月1日にはさらにBAGLの発行済株式資本の33.7%を売却しました。この結果、BAGLはパークレイズ・グループから会計上、非連結化されました。この時点で、BAGLに対するパークレイズの持分は会計基準上、関連会社として扱われる要件を満たしました。しかし、2017年7月に管理権が見直されたこと、および会計処理の差異が重要でないことから、持分は取引日から売却可能資産として処理されました。

パークレイズは2017年度第3四半期にBAGLの普通株式の1.5%を黒人の経済力強化(Black Economic Empowerment)スキームに拠出しました。この結果、パークレイズが保有するBAGLの普通株式数は1億2,600万株となり、BAGLの発行済株式資本の14.9%に相当します。残存する持分は本社部門に売却可能資産として報告され、パークレイズに割り当てられるBAGLの配当金は本社の損益計算書上で認識されます。

規制当局に報告する目的上、BAGLは2017年度第4四半期現在の14.9%の持分に基づき比例連結ベースで処理されています。規制当局の承認を得た上で、パークレイズは2018年度末までに規制上においてもBAGLの完全非連結化を実施する見通しです。

アフリカ・バンキング

損益計算書関連の情報	2017年	2016年
	12月31日に 終了した年度 ¹	12月31日に 終了した年度
	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	1,024	2,169
手数料収入純額およびその他の収益	762	1,577
収益合計	1,786	3,746
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(177)	(445)
営業収益純額	1,609	3,301
英国銀行税およびパークレイズのBAGL持分の減損を除く営業費用	(1,130)	(2,345)
英国銀行税	-	(65)
BAGL売却に係る損失を除くその他の収益純額	5	6
パークレイズのBAGL持分の減損およびBAGL売却に係る損失を除く税引前利益	484	897
パークレイズのBAGL持分の減損	(1,090)	-
BAGL売却に係る損失	(1,435)	-
税引前(損失)/利益	(2,041)	897
税金	(154)	(306)
税引後(損失)/利益	(2,195)	591
株主帰属(損失)/利益	(2,335)	189

損益計算書関連の情報	2017年度	2017年度	2017年度	2017年度	2016年度	2016年度	2016年度	2016年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期 ²	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	-	-	407	617	626	561	502	480
手数料収入純額およびその他の収益	-	-	297	465	441	421	377	338
収益合計	-	-	704	1,082	1,067	982	879	818
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	-	(71)	(106)	(105)	(96)	(133)	(111)
営業収益純額	-	-	633	976	962	886	746	707
英国銀行税およびパークレイズのBAGL持分の減損を除く営業費用	-	-	(477)	(653)	(727)	(598)	(543)	(477)
英国銀行税	-	-	-	-	(65)	-	-	-
BAGL売却に係る損失を除くその他の収益純額	-	-	3	2	2	2	1	1
パークレイズのBAGL持分の減損およびBAGL売却に係る損失を除く税引前利益	-	-	159	325	172	290	204	231
パークレイズのBAGL持分の減損	-	-	(206)	(884)	-	-	-	-
BAGL売却に係る損失	-	-	(1,435)	-	-	-	-	-
税引前(損失)/利益	-	-	(1,482)	(559)	172	290	204	231
税引後(損失)/利益	-	-	(1,537)	(658)	71	209	145	166
株主帰属(損失)/利益	-	-	(1,534)	(801)	(52)	85	70	86

貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	-	-	-	660	651	611	527
リスク調整後資産 ³	-	-	98	413	423	399	339

¹ アフリカ・バンキングの損益計算書は2017年5月31日までの5ヵ月間の非継続事業の業績を表します。

² アフリカ・バンキングの2017年度第2四半期の損益計算書は2017年5月31日までの2ヵ月間の非継続事業の業績を表します。

³ 2017年12月31日のリスク調整後資産64億ポンド(2017年9月:86億ポンド)は本社において報告されています。

四半期業績の要約

パークレイズ・グループ

	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2016年度 第3四半期	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	2,272	2,475	2,579	2,519	2,523	2,796	2,530	2,688
手数料収入純額およびその他の収益	2,750	2,698	2,479	3,304	2,469	2,650	3,442	2,353
収益合計	5,022	5,173	5,058	5,823	4,992	5,446	5,972	5,041
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(573)	(709)	(527)	(527)	(653)	(789)	(488)	(443)
営業収益純額	4,449	4,464	4,531	5,296	4,339	4,657	5,484	4,598
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(3,621)	(3,274)	(3,398)	(3,591)	(3,812)	(3,581)	(3,425)	(3,747)
英国銀行税	(365)	-	-	-	(410)	-	-	-
訴訟および特定行為	(383)	(81)	(715)	(28)	(97)	(741)	(447)	(78)
営業費用	(4,369)	(3,355)	(4,113)	(3,619)	(4,319)	(4,322)	(3,872)	(3,825)
その他の収益／(費用)純額	13	(2)	241	5	310	502	(342)	20
税引前利益	93	1,107	659	1,682	330	837	1,270	793
税金(費用)／還付	(1,138)	(324)	(305)	(473)	50	(328)	(467)	(248)
継続事業に係る税引後(損失)／利益	(1,045)	783	354	1,209	380	509	803	545
非継続事業に係る税引後(損失)／利益	-	-	(1,537)	(658)	71	209	145	166

以下に帰属するもの:

親会社の普通株主	(1,294)	583	(1,401)	190	99	414	677	433
その他の株主	181	157	162	139	139	110	104	104
非支配持分	68	43	56	222	213	194	167	174

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	11,332	11,493	11,353	12,038	12,131	13,240	13,513	12,489
リスク調整後資産	3,130	3,243	3,274	3,609	3,656	3,734	3,663	3,630
CRR レバレッジ・エクスポージャー	11,245	11,506	11,221	11,969	11,255	11,851	11,554	10,820

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	(10.3%)	5.1%	(11.0%)	1.8%	1.1%	3.6%	5.8%	3.8%
平均有形株主資本(億ポンド)	481	489	493	494	489	494	483	483
収益に対する費用の比率	87%	65%	81%	62%	87%	79%	65%	76%
貸倒率(ベース・ポイント)	56	66	49	47	58	66	41	40
基本的1株当たり(損失)／利益	(7.3ペンス)	3.7ペンス	(8.0ペンス)	1.3ペンス	0.8ペンス	2.6ペンス	4.2ペンス	2.7ペンス
継続事業に係る基本的1株当たり(損失)／利益	(7.3ペンス)	3.7ペンス	1.0ペンス	6.1ペンス	1.1ペンス	2.1ペンス	3.8ペンス	2.2ペンス

事業部門別四半期業績

パークレイズ UK

	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2016年度 第3四半期	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	1,540	1,501	1,534	1,511	1,502	1,569	1,476	1,501
手数料収入純額およびその他の収益	330	351	286	330	326	374	467	302
収益合計	1,870	1,852	1,820	1,841	1,828	1,943	1,943	1,803
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(184)	(201)	(220)	(178)	(180)	(350)	(220)	(146)
営業収益純額	1,686	1,651	1,600	1,663	1,648	1,593	1,723	1,657
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(1,117)	(980)	(974)	(959)	(989)	(904)	(947)	(952)
英国銀行税	(59)	-	-	-	(48)	-	-	-
訴訟および特定行為	(53)	(11)	(699)	4	(28)	(614)	(399)	(1)
営業費用	(1,229)	(991)	(1,673)	(955)	(1,065)	(1,518)	(1,346)	(953)
その他の(費用)/収益純額	(5)	1	(1)	-	-	-	(1)	-
税引前利益/(損失)	452	661	(74)	708	583	75	376	704
株主帰属利益/(損失)	245	423	(285)	470	383	(163)	141	467

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,838	1,822	1,666	1,645	1,664	1,666	1,660	1,662
資産合計	2,374	2,304	2,034	2,030	2,096	2,091	2,046	2,017
顧客預り金	1,934	1,893	1,874	1,844	1,890	1,855	1,817	1,791
リスク調整後資産	709	700	661	663	675	674	671	697

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	10.7%	18.4%	(12.7%)	21.6%	18.2%	(7.1%)	6.6%	20.5%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	96	94	87	89	86	87	90	93
収益に対する費用の比率	66%	54%	92%	52%	58%	78%	69%	53%
貸倒率(ベース・ポイント)	39	43	52	43	42	82	52	34
純利ざや	3.32%	3.28%	3.70%	3.69%	3.56%	3.72%	3.56%	3.62%

パークレイズ UKの内訳

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計の内訳								
パーソナル・バンキング	1,020	926	933	944	934	970	1,068	919
パークレイカード・コンシューマーUK	445	539	495	498	507	561	463	491
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・ バンキング(WEBB)	405	387	392	399	387	412	412	393
収益合計	1,870	1,852	1,820	1,841	1,828	1,943	1,943	1,803

信用に関する減損(費用)/戻入および その他の引当金繰入額の内訳

パーソナル・バンキング	(56)	(60)	(56)	(50)	(50)	(47)	(44)	(42)
パークレイカード・コンシューマーUK	(124)	(145)	(149)	(123)	(118)	(291)	(169)	(105)
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・ バンキング(WEBB)	(4)	4	(15)	(5)	(12)	(12)	(7)	1
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額合計	(184)	(201)	(220)	(178)	(180)	(350)	(220)	(146)

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル・バンキング	1,398	1,384	1,365	1,344	1,350	1,353	1,347	1,347
パークレイカード・コンシューマーUK	164	163	162	161	165	162	162	160
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・ バンキング(WEBB)	276	275	139	140	149	151	151	155
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,838	1,822	1,666	1,645	1,664	1,666	1,660	1,662

顧客預り金の内訳

パーソナル・バンキング	1,411	1,401	1,385	1,373	1,393	1,372	1,348	1,329
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	-	-	-	-	-	-
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・ バンキング(WEBB)	523	492	489	471	497	483	469	462
顧客預り金合計	1,934	1,893	1,874	1,844	1,890	1,855	1,817	1,791

事業部門別四半期業績

パークレイズ・インターナショナル

	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2016年度 第3四半期	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期
損益計算書関連の情報								
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	987	1,148	1,060	1,112	1,046	1,355	1,001	1,110
トレーディング収益純額	935	815	1,039	1,182	1,131	1,074	1,130	1,245
手数料収入純額およびその他の収益	1,397	1,352	1,511	1,844	1,415	1,422	1,908	1,158
収益合計	3,319	3,315	3,610	4,138	3,592	3,851	4,039	3,513
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(386)	(495)	(279)	(346)	(426)	(420)	(240)	(269)
営業収益純額	2,933	2,820	3,331	3,792	3,166	3,431	3,799	3,244
英国銀行税、訴訟および 特定行為を除く営業費用	(2,428)	(2,182)	(2,276)	(2,435)	(2,497)	(2,337)	(2,074)	(2,221)
英国銀行税	(265)	-	-	-	(284)	-	-	-
訴訟および特定行為	(255)	(5)	4	(13)	(17)	(17)	(10)	(4)
営業費用	(2,948)	(2,187)	(2,272)	(2,448)	(2,798)	(2,354)	(2,084)	(2,225)
その他の収益純額	21	19	202	12	5	8	11	8
税引前利益	6	652	1,261	1,356	373	1,085	1,726	1,027
株主帰属(損失)/利益	(1,168)	359	819	837	43	623	1,171	575
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース)	1,987	2,207	2,048	2,261	2,113	2,337	2,306	2,159
トレーディング・ポートフォリオ資産	1,130	912	833	830	732	738	681	643
デリバティブ金融資産	2,362	2,428	1,084	1,053	1,562	1,556	1,814	1,501
デリバティブ金融負債	2,378	2,429	1,168	1,128	1,606	1,605	1,875	1,554
リバース・レポ取引および その他類似の担保付貸付	124	155	172	176	134	173	197	191
公正価値で測定すると指定された金融資産	1,041	1,037	941	813	623	720	683	596
資産合計	8,561	8,671	6,816	6,772	6,485	6,819	6,799	6,184
顧客預り金	2,251	2,410	2,303	2,410	2,162	2,241	2,265	2,131
リスク調整後資産	2,103	2,182	2,122	2,143	2,127	2,146	2,093	2,022
パフォーマンス指標								
平均割当有形株主資本利益率	(15.9%)	5.4%	12.4%	12.5%	1.0%	10.0%	19.2%	9.5%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	285	289	274	277	266	257	248	251
収益に対する費用の比率	89%	66%	63%	59%	78%	61%	52%	63%
貸倒率(ベース・ポイント)	76	88	54	62	78	71	41	50
純利ざや	4.31%	4.21%	4.07%	4.06%	3.91%	4.21%	3.92%	3.78%

事業部門別四半期業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・

インベストメント・バンク(CIB)

損益計算書関連の情報

	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2016年度 第3四半期	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
マクロ	320	368	456	490	505	614	612	573
クレジット	287	259	296	399	261	333	269	322
株式	362	350	455	462	410	461	406	513
市場	969	977	1,207	1,351	1,176	1,408	1,287	1,408
バンキング手数料	605	607	674	726	650	644	622	481
コーポレート貸付	269	277	278	269	303	284	312	296
トランザクション・バンキング	408	419	404	398	401	458	390	408
バンキング	1,282	1,303	1,356	1,393	1,354	1,386	1,324	1,185
その他	1	-	1	38	1	1	-	3
収益合計	2,252	2,280	2,564	2,782	2,531	2,795	2,611	2,596
信用に関する減損(費用)／戻入および その他の引当金繰入額	(127)	(36)	1	(51)	(90)	(38)	(37)	(95)
営業費用	(2,384)	(1,661)	(1,756)	(1,941)	(2,287)	(1,872)	(1,665)	(1,800)
その他の収益純額	7	10	116	-	1	-	-	-
税引前(損失)／利益	(252)	593	925	790	155	885	909	701

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース)	1,601	1,817	1,663	1,874	1,716	1,969	1,952	1,830
顧客預り金	1,659	1,827	1,730	1,834	1,662	1,758	1,796	1,689
リスク調整後資産	1,762	1,852	1,789	1,806	1,786	1,825	1,784	1,726

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	(20.2%)	5.9%	11.1%	8.2%	(1.2%)	9.2%	9.5%	7.3%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	243	248	233	235	226	219	213	216

コンシューマー、カードおよび

決済事業

損益計算書関連の情報

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	1,067	1,035	1,046	1,356	1,061	1,056	1,428	917
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(259)	(459)	(280)	(295)	(336)	(382)	(203)	(174)
営業費用	(564)	(526)	(516)	(507)	(511)	(482)	(419)	(425)
その他の収益純額	14	9	86	12	4	8	11	8
税引前利益	258	59	336	566	218	200	817	326

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース)	386	390	385	387	397	368	354	329
顧客預り金	592	583	573	576	500	483	469	442
リスク調整後資産	341	330	333	337	341	321	309	296

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	8.9%	2.2%	19.4%	36.4%	13.2%	14.8%	77.9%	23.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	42	42	41	42	40	37	35	34

事業部門別四半期業績

本社

	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2016年度 第3四半期	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期
損益計算書関連の情報								
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	(254)	(174)	108	(115)	29	(206)	14	(20)
手数料収入純額およびその他の収益 ¹	87	180	(24)	33	(38)	17	320	(13)
収益合計	(167)	6	84	(82)	(9)	(189)	334	(33)
信用に関する減損(費用)／戻入および その他の引当金繰入額	(3)	(13)	(1)	-	-	1	(2)	1
営業(費用)／収益純額	(170)	(7)	83	(82)	(9)	(188)	332	(32)
英国銀行税、訴訟および特定行為を除く営業費用	(76)	(112)	(40)	(49)	15	(29)	(36)	(85)
英国銀行税	(41)	-	-	-	(2)	-	-	-
訴訟および特定行為	(75)	(65)	(1)	(10)	(1)	(8)	(11)	(7)
営業費用	(192)	(177)	(41)	(59)	12	(37)	(47)	(92)
その他の(費用)／収益純額	(3)	(22)	(164)	-	159	(4)	(28)	1
税引前(損失)／利益	(365)	(206)	(122)	(141)	162	(229)	257	(123)
株主帰属(損失)／利益	(371)	(199)	(175)	(123)	223	(203)	182	(92)
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	397	517	173	745	752	733	877	634
リスク調整後資産 ²	318	361	262	529	533	475	432	403
パフォーマンス指標								
平均割当有形株主資本(億ポンド)	100	105	88	76	72	74	66	50

1 2017年1月1日付で当グループ自身の信用度に関連する損益に係るIFRS第9号の規定を早期適用したことに伴い、従来、手数料収入純額およびその他の収益に計上されていた当グループ自身の信用度に関連する損益は2017年度第1四半期からその他の包括利益に計上されています。

2 アフリカ・バンキングのリスク調整後資産を含みます。

利ざやおよび残高

	2017年12月31日に終了した年度			2016年12月31日に終了した年度		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや (%)	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや (%)
パークレイズ UK	6,086	174,484	3.49	6,048	167,233	3.62
パークレイズ・インターナショナル ¹	4,326	104,039	4.16	4,275	107,333	3.98
パークレイズ UK およびパークレイズ・ インターナショナル合計	10,412	278,523	3.74	10,323	274,566	3.76
その他 ²	(567)			214		
利息収入純額合計	9,845			10,537		

パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの利息収入純額合計は 1%増加して 104 億ポンドとなりました。パークレイズ・インターナショナルにおける減少により一部相殺されたものの、パークレイズ UK における増加で平均顧客資産が 2,785 億ポンド(2016 年: 2,746 億ポンド)に増えたことが主因です。

純利ざやは 2 ベーシス・ポイント低下して 3.74%となりました。平均顧客資産の減少をよそにパークレイズ・インターナショナルの利息収入純額が概ね横ばいで推移したことにより一部相殺されたものの、教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオを 2017 年 7 月 1 日付でノンコア部門からパークレイズ UK に統合したことを主に反映しています。グループの利息収入純額は 98 億ポンドに減少しました(2016 年: 105 億ポンド)。これには構造的ヘッジの正味寄与 13 億ポンド(2016 年: 15 億ポンド)が含まれます。

事業部門別の純利ざやは、当グループがホールセール市場から代替資金調達を行う際の費用をベースとしたグループ全体の内部調達レートの変動を反映しています。内部調達レートは純額ベースで余剰流動性を有する事業部門に適切にクレジットを与え、代替資金調達が必要な事業部門に実勢市場金利に期間プレミアムを含めたレートでチャージするためのグループ内の資金調達や流動性の利率として設定されます。

パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの四半期分析

	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや (%)
2017年12月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,540	184,058	3.32
パークレイズ・インターナショナル ¹	1,071	98,500	4.31
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,611	282,558	3.67
2017年9月30日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,501	181,419	3.28
パークレイズ・インターナショナル ¹	1,070	100,828	4.21
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,571	282,247	3.61
2017年6月30日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,534	166,345	3.70
パークレイズ・インターナショナル ¹	1,064	104,899	4.07
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,598	271,244	3.84
2017年3月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,511	166,065	3.69
パークレイズ・インターナショナル ¹	1,121	112,060	4.06
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,632	278,125	3.84
2016年12月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,502	167,935	3.56
パークレイズ・インターナショナル ¹	1,110	112,936	3.91
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,612	280,871	3.70

¹ パークレイズ・インターナショナルの利ざやにはインベストメント・バンキング事業における利付き貸付金残高が含まれています。

² その他には本社および貸付金以外のインベストメント・バンキング残高が含まれています。ノンコアは完全比較期間および 2017 年 1-6 月期に含まれています。

報酬

繰延賞与は従業員が特定期間の勤務を含む一定の条件を満たした場合に限り支払われます。このため、賞与プールの情報と損益計算書上の計上額との間に期間差異が発生します。報酬コストの計上額への調整は以下の表の通りです。2016年には、グループ全体の報奨体系の繰延構造との調和を図ることを目的として繰延される賞与の割合が変更され、繰延賞与が修正されました。この結果、英語原文の24ページに示すように、損益計算書に計上される報酬の割合が上昇しました。こうした変更の総合的な影響により2016年の計上額は3億9,500万ポンド増加しましたが、2017年と2018年の影響額はより小さくなりました。こうした変更は付与された報奨額と損益計算書計上額の整合性を高めることを目的としています。報酬の詳細は英文年次報告書93～116ページの報酬に関する報告書をご参照ください。下表は報酬コストと人件費のその他の項目について示しています。

	2017年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
報奨付与:			
当年度賞与	990	1,018	3
繰延賞与	442	441	-
販売手数料およびその他のインセンティブ ¹	74	74	-
報奨付与合計	1,506	1,533	2
報奨付与合計額から損益計算書計上額への調整			
控除: 当期に付与された費用計上されていない繰延賞与	(302)	(300)	(1)
加算: 過年度からの繰延賞与の当期費用計上額	457	690	34
報奨付与額と損益計算書計上額との差額	29	(26)	
報酬コストの損益計算書計上額	1,690	1,897	11
その他の損益計算書計上額:			
給与	3,982	4,121	3
社会保障費	580	589	2
退職後給付	493	486	(2)
その他の報酬費用	378	352	(7)
報酬費用合計²	7,123	7,445	4
その他の人材調達費用 ³	1,437	1,978	27
人件費合計	8,560	9,423	9
収益に対するグループ報酬比率⁴	33.8	34.7	

1 付与された報酬額と損益計算書上の手数料、コミットメントおよびその他の長期インセンティブの計上額の差を表します。

2 加えて、自社開発ソフトウェアとして3億1,200万ポンド(2016年: 2億1,200万ポンド)のグループ報酬が資産計上されました。

3 その他の人材調達費用には、アウトソーシング、人員削減および事業再編費用、その他臨時従業員費用が含まれています。

4 コーポレート・アンド・インベストメント・バンクの収益合計のうちフロント・オフィスの報酬比率は25.5%でした(2016年: 26.0%)。

業績管理

これまでに付与された繰延賞与は、下表に示される年度において損益計算書に計上されることが予想されています。

損益計算書にこれまで付与されてきた繰延賞与の費用計上が予想される年度¹

	実績		予想 ²	
	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2018年 12月31日に 終了する年度 (百万ポンド)	2019年 12月31日に 終了する 年度以降 (百万ポンド)
パークレイズ・グループ				
2014年およびそれ以前の賞与プールからの繰延賞与	301	96	12	-
2015年の賞与プールからの繰延賞与	389	202	81	12
2016年の賞与プールからの繰延賞与	141	159	86	56
2017年の賞与プールからの繰延賞与	-	140	124	120
損益計算書に費用計上される繰延賞与	831	597	303	188

繰延賞与の費用計上の特性

付与日	予想支払日 ³	年度	損益計算書への費用計上の特性 ⁴	
			2016年以後 報奨	2016年以前 報奨
2018年3月		2017	33%	0%
		2018	33%	48%
	2019年3月(33.3%)	2019	22%	35%
	2020年3月(33.3%)	2020	10%	15%
	2021年3月(33.3%)	2021	2%	2%

¹ 実際の計上額は条件が満たされているか否かに影響され、上記の予想とは異なります。

² 2018年以降に実施される予定の付与の影響を含みません。

³ 株式報奨は追加の保有期間が要求される可能性があります。

⁴ 損益計算書上の費用計上は条件が満たされる年度に認識されます。

リスク管理

リスク管理および主要リスク

バークレイズのリスク管理における事業グループの役割と責任、リスクおよび法令順守は全社的リスク管理フレームワークで定義されています。フレームワークの目的はバークレイズの主要リスクや、事業活動におけるリスク選好度を決定するプロセス、およびその結果として関連するリスク・テイクングに関して設定する上限を特定することです。フレームワークは信用リスク、市場リスク、財務および資本リスク、オペレーショナル・リスク、コンダクト・リスク、レピュテーション・リスク、モデル・リスクおよび法的リスクの8つの主要リスクを特定しています。これらリスクの詳細ならびに管理手法については、2017年度年次報告書またはウェブサイト(home.barclays/annualreport)をご覧ください。

当期における信用リスク、財務および資本リスクの概要は以下のセクションをご参照ください。

信用リスク

リテールおよびホールセール貸付金ならびに減損の分析

	貸付金総額	減損引当金	貸付金 (減損控除後)	クレジット・ リスク・ローン (CRL)	貸付金総額 に占める CRLの比率	貸付金に係る 減損費用 ¹	貸倒率 ベース・ ポイント
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)	(百万ポンド)	
2017年12月31日現在							
パークレイズ UK	159,397	1,649	157,748	1,950	1.2	764	48
パークレイズ・インターナショナル	30,775	1,542	29,233	1,275	4.1	1,285	418
本社	9,333	296	9,037	710	7.6	16	17
パークレイズ・ノンコア ²	-	-	-	-	-	30	n/a
グループ・リテール合計	199,505	3,487	196,018	3,935	2.0	2,095	105
パークレイズ UK	28,960	190	28,770	432	1.5	19	7
パークレイズ・インターナショナル	170,299	862	169,437	1,421	0.8	219	13
本社	7,103	113	6,990	206	2.9	1	1
パークレイズ・ノンコア ²	-	-	-	-	-	(1)	n/a
グループ・ホールセール合計	206,362	1,165	205,197	2,059	1.0	238	12
グループ合計	405,867	4,652	401,215	5,994	1.5	2,333	57
売買目的の貸付金	3,140	n/a	3,140	n/a			
公正価値で測定すると指定された貸付金	11,037	n/a	11,037	n/a			
貸付金(公正価値で保有)	14,177	n/a	14,177	n/a			
貸付金合計	420,044	4,652	415,392	5,994			
2016年12月31日現在							
パークレイズ UK	155,729	1,519	154,210	2,044	1.3	866	56
パークレイズ・インターナショナル	33,485	1,492	31,993	1,249	3.7	1,085	324
パークレイズ・ノンコア	10,319	385	9,934	838	8.1	102	99
グループ・リテール合計	199,533	3,396	196,137	4,131	2.1	2,053	103
パークレイズ UK	15,204	282	14,922	591	3.9	30	20
パークレイズ・インターナショナル	180,102	748	179,354	1,470	0.8	258	14
本社	4,410	-	4,410	-	-	-	-
パークレイズ・ノンコア	41,406	194	41,212	299	0.7	11	3
グループ・ホールセール合計	241,122	1,224	239,898	2,360	1.0	299	12
グループ合計	440,655	4,620	436,035	6,491	1.5	2,352	53
売買目的の貸付金	2,975	n/a	2,975	n/a			
公正価値で測定すると指定された貸付金	10,519	n/a	10,519	n/a			
貸付金(公正価値で保有)	13,494	n/a	13,494	n/a			
貸付金合計	454,149	4,620	449,529	6,491			

貸付金合計は 341 億ポンド減少して 4,154 億ポンドとなりました。純額決済および現金担保の正味残高の 127 億ポンドの減少および主にパークレイズ・インターナショナルにおけるその他貸付の 214 億ポンドの減少を反映しています。

クレジット・リスク・ローン(CRL)は 60 億ポンドに減少し(2016年12月: 65 億ポンド)、貸付金総額に占める CRL の比率は 1.5%と横ばいで推移しました(2016年12月: 1.5%)。貸付金に係る減損費用は 1,900 万ポンド減少して 23 億 3,300 万ポンドでした。全体として、貸倒率は 4 ベーシス・ポイント上昇して 57 ベーシス・ポイントとなりました。

1 売却可能投資およびリバース・レポ取引に係る減損費用を除外しています。

2 パークレイズ・ノンコアは2017年6月30日に終了した6か月間の費用を表しており、これは主に2017年7月1日付で本社に移管されたイタリアの住宅ローンに関連しています。

財務および資本リスク

パークレイズはグループの流動性リスクを管理するための包括的な重要なリスク統制フレームワークを備えています。流動性フレームワークはプルデンス(健全性)規制機構(PRA)の規制基準に適合し、当グループが金額および質において十分な流動性リソース、ならびに流動性リスク選好度(LRA)に見合った適切な資金調達プロファイルを維持するよう設計されています。流動性フレームワークはポリシー形成、レビューおよび管理、分析、ストレス・テスト、制限設定、モニタリングを組み合わせで構築されています。

流動性リスクストレス・テスト

2017年12月31日現在、当グループは30日間の市場全体の複合シナリオおよびパークレイズ固有の流動性リスク選好度(LRA)の複合シナリオと流動性カバレッジ比率(LCR)の両方でストレス時の資金流出純額の100%を大幅に上回る適格流動性資産を保有しています。2017年度に複合LRAシナリオは強化され、フルホライズンを上回る市場全体のストレスと同時発生するパークレイズ固有のストレスを捉えるように改善されました。

内部基準および規制に則ったストレス・テストの遵守

	パークレイズの短期 LRA(30日間の複合 ストレス要件) ¹ (億ポンド)	CRD IV の LCR (億ポンド)
適格流動性バッファー	2,200	2,150
ストレス時の資金流出純額	(1,750)	(1,400)
余剰流動性	450	750
2017年12月31日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	126%	154%
2016年12月31日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率 ²	120%	131%

当グループは市場の資金調達状況や当グループの流動性ポジションのリスクを考慮しつつ、内部規則および規制上のストレス要件に対する余剰流動性を効率的な水準で維持することを計画しています。これらのリスクを継続的に再評価することで、余剰流動性の規模への適切な対応が可能となります。

1 短期LRAの一環としてモニターされている3つのストレス・シナリオのうち、30日間の複合ストレス・シナリオの下での比率は最も低い126%(2016年:144%)となります。これに対し90日間の市場全体シナリオの下での比率は139%(2016年:134%)、30日間のパークレイズ固有シナリオの下での比率は131%(2016年:120%)となります。

2 2016年12月31日は3つのシナリオのうち最も比率が低いパークレイズ固有シナリオ下での比率である120%を反映しています。2016年のLCRとLRAにはBAGLが含まれています。

財務および資本リスク

グループ余剰流動性の構成

	余剰流動性 2017年12月31日 現在 (億ポンド)	余剰流動性のうち CRD IV の LCR 適格分			余剰流動性 2016年12月31日 現在 (億ポンド)
		現金 (億ポンド)	レベル1 (億ポンド)	レベル2A (億ポンド)	
現金および中央銀行預け金 ¹	1,730	1,690	-	-	1,030
国債 ²					
AAA格からAA-格	310	-	290	-	
BBB+格からBBB-格	20	-	20	-	
その他のLCR不適格国債	10	-	-	-	
国債合計	340	-	310	-	390
その他					
政府保証発行体、PSEおよびGSE	60	-	50	20	
国際機関およびMDB	40	-	40	-	
カバード・ボンド	20	-	20	-	
その他	10	-	10	-	
その他合計	130	-	120	20	230
2017年12月31日現在合計	2,200	1,690	430	20	
2016年12月31日現在合計	1,650	1,010	550	30	

2017年12月31日現在の当グループの余剰流動性は2,200億ポンド(2016年12月:1,650億ポンド)でした。2017年度において、各月末時点の余剰流動性は1,650億ポンドから2,320億ポンド(2016年12月:1,320億ポンドから1,750億ポンド)の範囲で推移し、月末平均残高は2,020億ポンド(2016年12月:1,530億ポンド)でした。余剰流動性は担保に供されていない資産で、支払や決済要件の裏付けとして使用されるものではありません。こうした要件はパークレイズの通常の事業資金調達の一部として扱われます。余剰流動性はストレス時の資金流出を相殺することを目的とし、上述のキャッシュおよび担保に供されていない資産で構成されます。

2017年12月31日現在、余剰流動性の93%(2016年12月:91%)がパークレイズ・バンク・ピーエルシー(BBPLC)に所在し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余余剰流動性の大半はBBPLCの子会社であるパークレイズ・キャピタル・インク内部で保有されています。余剰流動性のうち、BBPLCの外部に所在する部分は各事業体固有のストレス時の資金流出および規制上の要件に対して保有されています。余剰流動性のこの部分の使用は、規制上の要件により制限されており、グループの他の事業体は利用できないと考えられています。

預金による調達

	2017年12月31日現在			2016年12月31日現在	
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 (%)	顧客向け貸付金 (億ポンド)	預貸率 (%)
顧客向け貸付金の調達					
パークレイズ UK	1,840	1,930			
パークレイズ・インターナショナル	1,010	1,620			
リテールおよびコーポレート資金調達の合計 ³	2,850	3,550	80%		89%
パークレイズ・インターナショナルおよび本社 ⁴	810	740			
パークレイズ・グループ合計	3,660	4,290	85%		93%

リテールおよびコーポレートの貸付金は主に顧客預り金によって資金調達しています。2017年12月31日現在、これらの事業の預貸率は80%でした(2016年12月:89%)。貸付金を上回る顧客預り金は、主にこれらの事業の流動性バッファー要件を満たすために使用されています。当グループの預貸率は85%でした(2016年12月:93%)。

2017年12月31日現在、顧客預り金合計1,530億ポンド(2016年12月:1,390億ポンド)が英国金融サービス補償スキームおよびその他の同様のスキームで保証されています。これらの顧客預り金に加え、その他の負債40億ポンド(2016年12月:40億ポンド)が政府によって付保または保証されています。

¹ このうち99%超(2016年:98%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

² このうち84%超(2016年:90%超)は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイスおよびオランダの国債で構成されています。

³ 預貸率は利付き貸付金以外のインベストメント・バンキング業務残高を除きます。比較数値はインベストメント・バンキング業務の利付き貸付金残高を含めるよう修正再表示されています。

⁴ 利付き貸付金以外のインベストメント・バンキング業務残高を含みます。

財務および資本リスク

ホールセール資金調達

ホールセール資金調達の構成¹

当グループのホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は、1,574億ポンド(2016年12月: 1,578億ポンド)でした。このうち572億ポンド(2016年12月: 703億ポンド)は1年未満に満期を迎えるもので、うち138億ポンド(2016年12月: 215億ポンド)がターム・ファンディングに関連しています。

2017年12月31日現在、ホールセール資金調達残高のうち204億ポンド(2016年12月: 258億ポンド)は担保付資金調達、1,370億ポンド(2016年12月: 1,320億ポンド)は無担保資金調達でした。

当グループは2017年度にパークレイズ・ピーエルシー(親会社)による115億ポンド相当の資本およびターム無担保シニア債の発行を行いました。内訳は公募の無担保シニア債が61億ポンド、資本性商品が54億ポンドでした。同期間にパークレイズ・バンク・ピーエルシーの資本および公募タームシニア商品61億ポンドが満期または償還を迎えました。これには米ドル建て優先株シリーズ3(13億7,500万ドル、7.1%)が含まれています。

当グループは予想される自己資本および適格債務の最低基準(MREL)の要件を引き続き順守し、種類、通貨、市場の多様性を備えた安定した資金調達基盤を維持するため、2018年度もパークレイズ・ピーエルシー(親会社)による公募ホールセール債券の発行を行う予定です。

期間別ホールセール資金調達²

	1ヵ月 未満	1-3 ヵ月	3-6 ヵ月	6-12 ヵ月	1年 未満	1-2年	2-3年	3-4年	4-5年	5年超	合計
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)											
無担保シニア債(公募)	-	7	-	1	8	15	10	42	40	96	211
無担保シニア債(私募)	-	-	-	1	1	-	-	2	-	5	8
劣後負債	-	-	-	-	-	-	11	-	-	54	65
パークレイズ・バンク・ピーエルシー (子会社を含む)											
銀行預り金	54	47	7	6	114	1	1	3	-	-	119
譲渡性預金およびコマーシャル・ペーパー	24	81	71	70	246	12	8	6	4	1	277
資産担保コマーシャル・ペーパー	19	41	4	-	64	-	-	-	-	-	64
無担保シニア債(公募)	-	-	-	-	-	25	6	6	-	11	48
無担保シニア債(私募) ³	5	9	36	29	79	99	67	18	31	146	440
カバード・ボンド	-	10	-	-	10	18	10	10	24	13	85
資産担保証券	-	-	6	2	8	17	10	-	1	18	54
劣後負債	23	1	8	-	32	1	8	52	35	45	173
その他 ⁴	5	-	1	4	10	2	2	3	-	13	30
2017年12月31日現在合計	130	196	133	113	572	190	133	142	135	402	1,574
担保付	19	51	11	2	83	35	20	10	25	31	204
無担保	111	145	122	111	489	155	11.3	132	110	371	1,370
2016年12月31日現在合計	166	173	164	200	703	143	144	86	141	361	1,578
担保付	37	56	34	23	150	18	32	4	10	44	258
無担保	129	117	130	177	553	125	112	82	131	317	1,320

1 ホールセール資金調達は貸借対照表に計上された銀行預り金、公正価値で測定すると指定された金融負債、発行債券および劣後負債(現金担保と決済残高を除く)で構成されています。レポ取引およびその他同様の担保付借入において報告される中央銀行のファシリティへの参加分は含まれていません。

2 ターム資金調達は公募指標および私募無担保シニア債、カバード・ボンド、資産担保証券(ABS)および商品の当初満期が1年超の劣後負債で構成されています。

3 ストラクチャード・ノート334億ポンドを含み、うち72億ポンドは1年以内に満期を迎えます。

4 主として公正価値で測定する預り金17億ポンドで構成されています。

財務および資本リスク

自己資本および適格債務の最低基準(MREL)

イングランド銀行は自己資本および適格債務の最低基準(MREL)に関する政策の声明に基づき、英国の「グローバルなシステム上重要な銀行(G-SIBs)」向けに総損失吸収力(TLAC)基準の適用に必要なMRELを設定します。機関またはグループにとって望ましい破綻処理戦略に応じて機関またはグループ固有のMREL要件が設定されます。

MREL要件は2019年1月1日から段階的に適用され、2022年1月1日には完全施行されます。この時点で、英国に設立された破綻処理エンティティを有する、パークレイズを含むG-SIBsは、以下のいずれか高いほうのMRELの達成を求められます：(i)ピラー1およびピラー2A要件の合計の2倍の額；あるいは(ii)レバレッジ比率の2倍の比率またはレバレッジ・エクスポージャーの6.75%のいずれか高い水準。しかし、プルーデンス(健全性)規制機構(PRA)はピラー2A資本再構築案の評価を含め、2020年末までにMREL基準を見直す予定で、2022年1月1日時点のMREL要件は現在の提案とは異なる可能性があります。加えて、CET1資本をMRELとコンバインド・バッファー要件(CBR)の双方に含めないことが提案されており、CBRは実質的に自己資本およびMRELに関するピラー1、ピラー2A要件を上回る水準が適用されることを意味します。

現在、2022年1月1日以降に予想されるパークレイズのMREL要件はリスク調整資産の29.1%で、以下の要因で構成されます：

- 損失吸収および資本再構築の額はそれぞれピラー1バッファー8%、およびピラー2Aバッファー4.3%でそれぞれ構成されます
- 規制上のバッファーは、グローバルなシステム上重要な金融機関(G-SII)に対するバッファー1.5%、資本保全バッファー(CCB) 2.5%、および英国のカウンターシクリカル資本バッファー(CCyB) 1%の適用計画による0.5%を含みます¹

MREL 比率および残高

MREL 比率	2017年 12月31日現在	2016年 12月31日現在
完全施行ベースの CET1 資本	13.3%	12.4%
追加的 Tier1(AT1)資本性商品および関連株式プレミアム	2.9%	1.8%
Tier2(T2)資本性商品および関連株式プレミアム	2.1%	1.0%
ターム・シニア無担保資金調達	6.8%	4.6%
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)の MREL 比率合計	25.0%	19.8%
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む) ²	1.1%	1.5%
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む) ²	2.2%	3.0%
経過措置ルールに基づく MREL 比率合計(BBPLC の適格商品を含む)	28.2%	24.2%

MREL に関連する残高	(百万ポンド)	(百万ポンド)
完全施行ベースの CET1 資本	41,565	45,204
追加的 Tier1(AT1)資本性商品および関連株式プレミアム	8,941	6,449
Tier2(T2)資本性商品および関連株式プレミアム	6,472	3,769
ターム・シニア無担保資金調達	21,166	16,785
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)の MREL に関連する残高合計	78,144	72,207
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む) ²	3,408	5,315
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む) ²	6,789	11,109
経過措置ルールに基づく MREL に関連する残高合計(BBPLC の適格商品を含む)	88,341	88,631
リスク調整後資産合計	313,033	365,649

¹ 2022年の要件は2020年末までに行われるイングランド銀行によるレビューの影響を受ける可能性があります。

² その他の追加的 Tier1(AT1)資本規制上の調整および控除1億3,000万ポンド(2016年12月:1億3,000万ポンド)およびその他の Tier2(T2)資本規制上の調整および控除2億5,100万ポンド(2016年12月:2億5,700万ポンド)が含まれます。

財務および資本リスク

信用格付け

パークレイズはグループの財務力に関連する主要基準のモニタリングおよび管理に加えて、スタンダード・アンド・プアーズ・グローバル(S&P)、ムーディーズ、フィッチならびに格付投資情報センター(R&I)に独立した信用格付けを依頼しています。これらの格付けは当グループ、子会社、支店の信用力を評価するもので、資本力、収益性、資金調達、流動性、資産の質、戦略、統治を含む広範囲にわたる事業および財務特性のレビューに基づいています。

パークレイズ・バンク・ピーエルシー	スタンダード・アンド・プアーズ	ムーディーズ	フィッチ
長期	A	A1	A
短期	A-1	P-1	F1
見通し	安定的	ネガティブ	格付ウォッチ・ポジティブ

パークレイズ・バンク・UK・ピーエルシー

長期	A (予備格付)	(予備格付) A1	A+ (予備格付)
短期	A-1 (予備格付)	(予備格付) P-1	F1 (予備格付)
見通し	安定的	評価未付与	安定的

パークレイズ・ピーエルシー

長期	BBB	Baa2	A
短期	A-2	P-3	F1
見通し	安定的	ネガティブ	安定的

2017年度はすべての格付け機関が、2018年4月に英国リングフェンス銀行として設立されることを予想してパークレイズ・バンク UK ピーエルシーに対して最初の格付けを付与しました。また、一部の格付け機関は、既存事業体であるパークレイズ・バンク・ピーエルシーとパークレイズ・ピーエルシーに対し以下のような格付けアクションをとりました。

フィッチは2017年9月、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーに「A+」格の予備格付けを付与しました。これは単体ベースの予備格付け「A」格からの1ノッチ引き上げを反映しています。これはパークレイズ・バンク UK ピーエルシーの適格ジュニア債(QJD)と呼ばれるジュニア債の発行残高が十分な額になると予想されることが理由です。また、フィッチは同じ格付けアクションにおいて、2018年中にQJDが1ノッチ引き上げられることを見込んでパークレイズ・バンク・ピーエルシーの見通しを「安定的」から「格付ウォッチ・ポジティブ」に修正しました。

S&Pは2017年10月にパークレイズ・バンク・ピーエルシーの状況に対する見解を最終確定し、長期および短期格付けを「A-/A-2」から「A/A-1」に1ノッチ引き上げました。S&Pは、非常に戦略的な状況であるとの従来の見方を修正し、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは引き続きグループの中核を成すと結論付けました。同時に、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーについても、同様にグループの中核を担うとの見方から「A」格の予備格付けを付与しました。また、S&Pは2017年11月、英国銀行セクターに対する英国経済リスクの見解を修正し、パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーの見通しをそれぞれ「ネガティブ」から「安定的」に変更しました。

ムーディーズは2017年10月にパークレイズ・バンク UK ピーエルシーに「(P)A1」の予備格付けを付与しました。パークレイズ・ピーエルシーとパークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する見通しは、2016年6月のEU離脱を巡る国民投票の結果以来「ネガティブ」に据え置いています。2017年10月以降はリングフェンス銀行の設立がパークレイズ・バンク・ピーエルシーの見通しを「ネガティブ」に据え置く根拠の1つとなっています。

また、パークレイズはR&Iに発行体格付けを依頼しており、2017年7月にパークレイズ・ピーエルシーの「A-」格、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの「A」格の格付けが確認されています。見通しはいずれも「安定的」です。

CRD IV 資本

バークレイズの最終的なCET1規制要件は、ピラー1最低所要水準4.5%、CCB2.5%、G-SIIバッファ1.5%、ピラー2A要件2.4%および予想されるCCyB0.5%から成る11.4%と予想されます。

CCBおよび金融安定理事会(FSB)のガイダンスに沿ってPRAが決定するG-SIIバッファは2016年以降毎年25%ずつ段階的に導入され、2019年から完全実施されます。CCBは2.5%に設定され、2017年は1.25%が適用されました。G-SIIバッファは2%に設定され、2017年は1%が適用されました。FSBは2016年11月21日、G-SIIバッファは1.5%に設定されており、2018年は1.1%が適用されることを確認しました。FSBは2017年11月21日、G-SIIバッファは引き続き1.5%で、2019年に適用されることを確認しました。

金融政策委員会(FPC)は2017年9月25日、2018年6月27日から適用される英国CCyBレートを0%から0.5%に引き上げ、2018年11月28日から適用される同レートを1%に引き上げる予定であることを再確認しました。現在の英国エクスポージャーに基づく、バークレイズのCCyBは2018年11月から約0.5%になると予想されます。その他の国家当局もそれぞれの管轄領域におけるエクスポージャーに適用されるべき適切なCCyBを決定します。ただし、現在のエクスポージャーに基づく、これらは重要なものではありません。

2017年度第4四半期および2018年のPRA個別資本ガイダンス(ICG)によるバークレイズのピラー2A要件は4.3%で、うち少なくとも56.25%はCET1で満たす必要があり、これはリスク調整後資産(RWA)の約2.4%に相当します。ピラー2A要件の一部要素は固定量であり、その他の要素はリスク調整後資産のある割合で、ポイント・イン・タイム評価に基づいています。ピラー2A要件は少なくとも年1回の見直しの対象です。

規制報告目的では、BAGLはバークレイズのBAGL持分14.9%に基づき、比例連結ベースで取り扱われます。

2017年12月31日現在、バークレイズのCET1資本比率は13.3%で、ピラー1最低所要水準4.5%、ピラー2A要件2.4%、CCB1.25%、G-SIIバッファ1%、CCyB0%を含めた2017年の経過措置ルールに基づく最低所要水準9.2%を上回っています。

財務および資本リスク

資本比率	2017年 12月31日現在	2017年 9月30日現在	2016年 12月31日現在
完全施行ベースの普通株式 Tier1 (CET1) ^{1,2}	13.3%	13.1%	12.4%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier1 ^{3,4}	17.2%	16.9%	15.6%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計 ^{3,4}	21.5%	21.2%	19.6%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の株主資本合計(非支配持分を除く)	63,905	64,649	64,873
(控除)その他の持分商品(AT1 資本として認識)	(8,941)	(8,940)	(6,449)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(392)	(284)	(388)
少数株主持分(連結 CET1 として認められる金額)	-	-	1,825
その他規制上の調整および控除:			
追加的評価調整(PVA)	(1,385)	(1,462)	(1,571)
のれんおよび無形資産	(7,908)	(7,787)	(9,054)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(593)	(482)	(494)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(1,161)	(1,195)	(2,104)
減損を上回る予想損失額	(1,239)	(1,423)	(1,294)
当グループ自体の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	83	28	86
確定給付年金基金資産	(732)	(683)	(38)
当グループが発行した CET1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(50)	(50)	(50)
一時的な差異から生じた繰延税金資産(10%を超えた部分)	-	-	(183)
その他規制上の調整	(22)	(42)	45
完全施行ベースの CET1 資本	41,565	42,329	45,204
追加的 Tier1(AT1)資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	8,941	8,940	6,449
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む)	3,538	3,802	5,445
その他規制上の調整および控除	(130)	(130)	(130)
経過措置ルールに基づく AT1 資本⁵	12,349	12,612	11,764
PRA 経過措置ルールに基づく Tier1 資本	53,914	54,941	56,968
Tier2(T2)資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	6,472	6,371	3,769
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む)	7,040	7,839	11,366
その他規制上の調整および控除	(251)	(251)	(257)
PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計	67,175	68,900	71,846
リスク調整後資産合計	313,033	324,296	365,649

1 CET1 資本に対する経過措置ルールに基づく規制上の調整は適用されなくなったため、完全施行ベースの CET1 資本は経過措置ルールに基づくものと同じです。

2 435 億ポンドの経過措置ベースの CRD IV CET1 資本と 3,130 億ポンドのリスク調整後資産に基づく、パークレイズの Tier2 コンティンジェント・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET1 資本比率(FSA による 2012 年 10 月の経過措置に関する発表)は 13.9% でした。

3 PRA 経過措置ルールに基づく自己資本は PRA ルール・ブックおよび付属のスーパーバイザー・ステートメントに基づいています。

4 2017 年 12 月 31 日現在、パークレイズの完全施行ベースの Tier1 自己資本は 503 億 7,600 万ポンド、完全施行ベースの Tier1 比率は 16.1% でした。完全施行ベースの規制上の自己資本合計は 646 億 4,600 万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は 20.7% でした。完全施行ベースの Tier1 自己資本および自己資本合計の数値は、CRD IV が定めた経過規定を適用せず、また、CRD IV の関連基準に対する AT1 および T2 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。

5 経過措置ルールに基づく AT1 資本 123 億ポンドのうち、完全施行ベースの AT1 資本はパークレイズ・ビーエルシー(親会社)が発行したコンティンジェント転換型金融商品および関連株式プレミアム 89 億ポンド、ならびに資本控除 1 億ポンドで構成されています。適用対象外の子会社が発行したレガシー Tier1 資本性商品 35 億ポンドは除外しています。レバレッジ比率には完全施行ベースの AT1 資本のみが適用されます。

財務および資本リスク

普通株式 Tier1 (CET1) 資本の変動

	2017年 12月31日に 終了した3か月間 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
CET1 資本の期首残高	42,329	45,204
株主に帰属する当期損失	(1,113)	(1,283)
当グループ自身の信用度に関連するデリバティブ負債 支払および支払予定配当金	9 (240)	78 (978)
損益から生じた規制上の自己資本の減少	(1,344)	(2,183)
株式制度の正味影響額	133	86
売却可能投資再評価差額	477	438
為替換算再評価差額	(86)	3
その他の剰余金	27	(920)
その他の適格剰余金の増加/(減少)	551	(393)
剰余金に含まれる年金の再測定	30	53
確定給付年金基金資産の控除	(49)	(694)
年金の正味の影響	(19)	(641)
少数株主持分	-	(1,825)
追加的評価調整(PVA)	77	186
のれんおよび無形資産	(121)	1,146
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(111)	(99)
減損を上回る予想損失額	184	55
一時的な差異から生じた繰延税金資産(10%を超えた部分)	-	183
その他規制上の調整	19	(68)
調整および控除による規制上の自己資本の増加/(減少)	48	(422)
CET1 資本の期末残高	41,565	41,565

CET1 資本は以下のことを反映して 416 億ポンドに減少しました(2016 年 12 月: 452 億ポンド)。

- 非継続事業にかかる損失 23 億ポンドにより相殺されたものの、2017 年度第 4 四半期における米国繰延税金資産の再測定による正味課税 9 億ポンドを含む、継続事業に係る税引後利益 11 億ポンドにより、株主に帰属する当期損失は 13 億ポンドとなりました。のれんに割り当てられたパークレイズの BAGL 持分の減損および BAGL に係る為替換算再評価差額の損失を損益計算書へ振り替えたことによる非継続事業に係る損失は、のれんおよび無形資産の控除額ならびにその他の適格剰余金の変動に相殺され、CET1 資本には影響がありませんでした
- 支払および支払予定配当金が 10 億ポンド減少しました
- 売却可能投資再評価差額は、売却可能資産として保有している BAGL 残存株式の公正価値の変動による利益を主因として、4 億ポンド増加しました
- 損益計算書に振り替えられた BAGL の損失 14 億ポンドが期末の米ドルの英ポンドに対する下落による 13 億ポンドの減少で相殺されたことを主因として、為替換算再評価差額に変動はありませんでした
- その他の剰余金は 9 億ポンド減少しました。これには米ドル建て優先株式の償還に伴う 5 億ポンドの減少およびパークレイズの BAGL 持分の売却に関連した分離に係る支払い 4 億ポンドが含まれています
- 年金関連の変動により CET1 資本は税引後ベースで 6 億ポンド減少しました。年金資産の資本控除の増加は、グループの主要年金制度である英国退職基金(UKRF)が 2016 年 12 月の小幅な積立不足から不足分の支払を理由として、10 億ポンドの積立超過に転じたためです
- BAGL 少数株主持分は BAGL の比例連結により適格ではなくなったため、18 億ポンド減少しました
- のれんに割り当てられたパークレイズの BAGL 持分の減損を主因とするのれんおよび無形資産の控除額の減少により、11 億ポンド増加しました

財務および資本リスク

リスクの種類および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク		カウンターパーティ 信用リスク				市場リスク		オペレー ショナル リスク	リスク 調整後 資産合計
	標準的手法	内部格付 手法	標準的 手法	内部格付 手法	決済リスク	信用価値 調整	標準的 手法	内部モデル 方式		
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)		
2017年12月31日現在										
パークレイズ UK	3,811	54,955	-	-	-	-	-	-	12,167	70,933
パークレイズ・インターナショナル 本社 ¹	49,058	69,520	17,000	17,243	101	2,776	13,313	13,547	27,708	210,266
	2,907	9,766	65	633	-	225	88	1,365	16,785	31,834
パークレイズ・グループ	55,776	134,241	17,065	17,876	101	3,001	13,401	14,912	56,660	313,033
2017年9月30日現在										
パークレイズ UK	4,278	53,364	3	-	-	31	-	-	12,338	70,014
パークレイズ・インターナショナル 本社 ¹	47,775	79,013	17,830	17,387	68	2,847	12,985	12,774	27,537	218,216
	4,241	12,274	89	585	-	151	114	1,827	16,785	36,066
パークレイズ・グループ	56,294	144,651	17,922	17,972	68	3,029	13,099	14,601	56,660	324,296
2016年12月31日現在										
パークレイズ UK	5,592	49,591	47	-	-	-	-	-	12,293	67,523
パークレイズ・インターナショナル 本社 ¹	53,201	82,327	13,515	13,706	30	3,581	9,343	9,460	27,538	212,701
	9,048	27,122	77	1,157	-	927	482	2,323	12,156	53,292
パークレイズ・ノンコア	4,714	9,945	1,043	6,081	37	2,235	477	2,928	4,673	32,133
パークレイズ・グループ	72,555	168,985	14,682	20,944	67	6,743	10,302	14,711	56,660	365,649

リスク調整後資産の変動の内訳

	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティ 信用リスク (億ポンド)	市場リスク (億ポンド)	オペレーショナル リスク (億ポンド)	リスク調整後 資産合計 (億ポンド)
2017年1月1日現在	2,415	424	250	567	3,656
与信残高	(110)	(12)	54	-	(68)
買収および処分	(317)	(15)	(16)	-	(348)
与信の質	(35)	5	1	-	(29)
モデルの更新	(14)	-	-	-	(14)
手法および方針	6	(22)	(6)	-	(22)
外国為替の変動 ²	(45)	-	-	-	(45)
2017年12月31日現在	1,900	380	283	567	3,130

リスク調整後資産は526億ポンド減少し、3,130億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- インベストメント・バンキング事業におけるトレーディング活動の増加により部分的に相殺されたものの、パークレイズのノンコア部門に係るポートフォリオ削減、米国税制改正法の成立に伴う米国繰延税金資産再測定再評価および証券化取引を主因に、与信残高がリスク調整後資産を68億ポンド減少させました
- BAGLの比例連結を主因に、買収および処分がリスク調整後資産を348億ポンド減少させました
- CIBのリスク特性の変化を主因に、与信の質がリスク調整後資産を29億ポンド減少させました
- パークレイズのBAGL持分削減前のアフリカ・バンキングのモデル変更を主因に、モデルの更新がリスク調整後資産を14億ポンド減少させました
- モデル化されたデリバティブ・エクスポージャーの計算ベースの改訂を主因に、手法および方針がリスク調整後資産を22億ポンド減少させました
- 英ポンドに対する期末の米ドルの下落を主因に、外国為替の変動がリスク調整後資産を45億ポンド減少させました

¹ アフリカ・バンキングのリスク調整後資産を含みます。

² 外国為替の変動にはカウンターパーティ信用リスクあるいは市場リスクに係る外国為替を含んでいません。

財務および資本リスク

レバレッジ比率およびエクスポージャー

FPCの勧告をうけて、PRAは2017年10月に英国レバレッジ比率の最低要件を3%から3.25%に引き上げました。パークレイズは、段階的に導入されているレバレッジ比率要件の規制を受けており、2017年12月31日現在、経過措置ルールに基づく要件は3.6%で、これは最低要件3.25%、経過措置ルールに基づくG-SIIに対する追加的レバレッジ比率バッファ(G-SII ALRB)0.35%および現在0%のカウンター・シクリカル・レバレッジ比率バッファ(CCLB)で構成されています。レバレッジ比率はTier1資本で表されますが、最低要件の75%(2.4375%に相当)はCET1資本で満たす必要があります。さらに、G-SII ALRBおよびCCLBはCET1資本のみでカバーされなければなりません。0.35%の経過措置ルールに基づくG-SII ALRBに対して保有するCET1資本は34億ポンドでした。完全施行ベースの最終的な英国レバレッジ要件は4.0%と予想されています。

また、パークレイズは四半期中の各月末での資本とエクスポージャー指標に基づく平均英国レバレッジ比率、並びに四半期末に基づく英国レバレッジ比率の開示を求められています。双方とも、レバレッジ・エクスポージャーの計算から適格中央銀行預け金を除外しています。また、パークレイズは自己資本要求規則(CRR)レバレッジ比率の開示も求められており、これは最終的なCRRの定義によるTier1資本およびCRRの定義によるレバレッジ・エクスポージャーに基づいています。

	2017年 12月31日現在 (億ポンド)	2017年 9月30日現在 (億ポンド)	2016年 12月31日現在 (億ポンド)
レバレッジ比率			
平均英国レバレッジ・エクスポージャー	10,450	10,350	11,370
完全施行ベースの平均Tier1資本	512	512	516
平均英国レバレッジ比率	4.9%	4.9%	4.5%
英国レバレッジ比率	5.1%	5.1%	5.0%
CRRレバレッジ比率	4.5%	4.4%	4.6%

英国レバレッジ・エクスポージャー

会計上の資産			
デリバティブ	2,380	2,440	3,470
現金担保	530	560	670
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	120	150	130
公正価値で測定すると指定された金融資産 ¹	1,160	1,160	790
貸付金およびその他の資産	7,140	7,180	7,070
IFRS上の資産合計	11,330	11,490	12,130
規制上の連結調整	80	130	(60)
デリバティブ調整			
デリバティブ・ネットティング	(2,170)	(2,220)	(3,130)
現金担保に係る調整	(420)	(420)	(500)
売建クレジット・プロテクション純額	140	150	120
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー(PFE)	1,200	1,240	1,360
デリバティブ調整合計	(1,250)	(1,250)	(2,150)
証券金融取引(SFT)調整	190	230	290
規制上の控除およびその他調整	(130)	(130)	(150)
加重計算されたオフ・バランスシートのコミットメント	1,030	1,040	1,190
CRRレバレッジ・エクスポージャー	11,250	11,510	11,250
適格中央銀行債権	(1,400)	(1,480)	(750)
英国レバレッジ・エクスポージャー	9,850	10,020	10,500
完全施行ベースのCET1資本	416	423	452
完全施行ベースのAT1資本	88	88	68
完全施行ベースのTier1資本	504	511	520

¹ 公正価値で測定すると指定された金融資産には、公正価値で測定すると指定されたリバース・レポ取引1,000億ポンド(2016年12月:630億ポンド)が含まれています。

財務および資本リスク

平均英国レバレッジ比率は 4.9% (2016 年 12 月: 4.5%) に増加しました。これは追加的 Tier1 (AT1) 証券の発行、ノンコア部門に係るエクスポージャーの減少および BAGL の規制上の比例連結が主因です。

CRR レバレッジ比率は 4.5% (2016 年 12 月: 4.6%) に減少しました。平均英国レバレッジ比率と CRR レバレッジ比率の変動の差異は、英国レバレッジ比率の計算から除外される中央銀行預け金の増加によるものです。加えて、年度末の完全施行ベースの Tier1 資本が米国税制改正法の成立を受けた米国繰延税金資産の再測定に伴い平均より低くなったことによるものです。

- 貸付金およびその他資産は 70 億ポンド増加して 7,140 億ポンドとなりました。これは主として、主に英国レバレッジ規則が適用されないグループ余剰流動性に対する現金寄与の増加を主因とする現金および中央銀行預け金の 690 億ポンドの増加およびバークレイズの BAGL 持分削減を主因とする売却目的保有資産の 700 億ポンドの減少によるものです
- リバース・レポ取引は、マッチド・ブック・トレーディングの増加を主因に、360 億ポンド増加して 1,120 億ポンドとなりました
- デリバティブ・レバレッジ・エクスポージャー純額は 330 億ポンド減少して 1,660 億ポンドとなりました。これは、金利および為替デリバティブの減少、ノンコア部門資産の圧縮、現金担保の減少および英ポンドに対する期末の米ドルと日本円の下落によるものです
- 規制上の連結調整は、バークレイズの持分削減を受けた BAGL の比例連結を主因に、140 億ポンド増加して 80 億ポンドとなりました
- 加重計算されたオフ・バランスシートのコミットメントは、バークレイズの持分削減を受けた BAGL の比例連結を主因に、160 億ポンド減少して 1,030 億ポンドとなりました

追加的なバークレイズの規制上の開示はレギュレーション (EU) No 575/2013 第 8 部に基づく開示要件に関する欧州銀行監督機構 (EBA) ガイドラインに従って作成され (バークレイズ・ピラー 3 レポートをご参照ください)、2018 年 2 月 22 日に開示されています。これは home.barclays/results で閲覧可能です。

財務および資本リスク

事業別利息収入純額(AEaR)の感応度

下表はヘッジ効果を含む非トレーディング資産および負債に係る税引前利息収入純額の感応度分析を示すものです。感応度はパークレイズ・ピラー3 レポートの英語原文 168 ページで説明しているアニュアル・アーニング・アット・リスク(AEaR)手法を用いて測定されています。この指標は金利先物カーブへの瞬時平行変化を前提としてのことにご留意ください。モデルはショック時の市場金利についてゼロをフロアとします。利息収入純額の感応度の変化はフォワード金利がゼロを上回っている場合にのみ観察されます。モデルの主要な仮定は次の通りです。(i)対象期間 1 年、(ii)バランスシートは一定、(iii)残高は想定行動特性に応じて調整する(すなわち、顧客が契約上の満期前にモーゲージを借り換える可能性を考慮する)、(iv)すべての金利シナリオにおいて想定される行動は一定に保たれる。

	パークレイズ UK (百万ポンド)	パークレイズ・ インター ナショナル (百万ポンド)	パークレイズ・ ノンコア (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2017年12月31日現在^{1,2,3}				
+100 ベーシス・ポイント	45	31	-	76
+25 ベーシス・ポイント	11	9	-	20
-25 ベーシス・ポイント	(61)	(22)	-	(83)
2016年12月31日現在^{1,2,3}				
+100 ベーシス・ポイント	19	46	6	71
+25 ベーシス・ポイント	5	16	1	22
-25 ベーシス・ポイント	(130)	(90)	-	(220)

利息収入純額の非対称性は現在の金利の低水準から生じています。2017年11月に英国基準金利が0.25%から0.5%に引き上げられた結果、モデル化された利息収入純額の金利マイナス25ベーシス・ポイントのショックに対する感応度は前年比で低下しました。

基準金利上昇環境および顧客貯蓄率の潜在的な顧客貯蓄市場0%フロアを避ける変動の結果、パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの金利低下へのエクスポージャーはともに低下しました。

通貨別利息収入純額(AEaR)の感応度⁴

	2017年12月31日現在		2016年12月31日現在	
	+25 ベーシス・ ポイント (百万ポンド)	-25 ベーシス・ ポイント (百万ポンド)	+25 ベーシス・ ポイント (百万ポンド)	-25 ベーシス・ ポイント (百万ポンド)
英ポンド	12	(76)	9	(215)
米ドル	1	(1)	3	(5)
ユーロ	4	(1)	7	1
その他の通貨	3	(5)	3	(1)
合計	20	(83)	22	(220)
利息収入純額に対する比率	0.20%	(0.84%)	0.21%	(2.09%)

1 インベストメント・バンキング事業を除外しています。

2 パークレイズ・ピラー3 レポートの英語原文 168、169 ページで説明している価値に基づくリスク指標を用いてリスク管理されている余剰流動性への会社の投資を主な内容としている財務活動を除外しています。+25/-25 ベーシス・ポイントの変動に対する財務の利息収入純額(AEaR)の感応度はそれぞれ1,300 万ポンド/マイナス200 万ポンドです。

3 パークレイズ UK の固定金利モーゲージ・パイプラインの予想される完成は、パイプライン・ヘッジの水準およびタイミングと一致していると仮定しています。

4 インベストメント・バンキング事業および財務活動を除外しています。

要約連結財務書類

要約連結損益計算書

	注記 ¹	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
継続事業			
利息収入純額		9,845	10,537
手数料収入純額		6,814	6,768
トレーディング収益純額		3,500	2,768
投資収益純額		861	1,324
その他の収益		56	54
収益合計		21,076	21,451
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(2,336)	(2,373)
営業収益純額		18,740	19,078
人件費		(8,560)	(9,423)
一般管理費		(6,896)	(6,915)
営業費用		(15,456)	(16,338)
事業売却益ならびに関連会社および合併企業の損益に対する持分		257	490
税引前利益		3,541	3,230
税金	1	(2,240)	(993)
継続事業に係る税引後利益		1,301	2,237
非継続事業に係る税引後(損失)/利益	12	(2,195)	591
税引後(損失)/利益		(894)	2,828
以下に帰属するもの:			
親会社の普通株主		(1,922)	1,623
その他の株主 ²	10	639	457
株主合計		(1,283)	2,080
継続事業に係る非支配持分に帰属する利益	2	249	346
非継続事業に係る非支配持分に帰属する利益	2	140	402
税引後(損失)/利益		(894)	2,828
1株当たり(損失)/利益		ペンス	ペンス
基本的普通株式1株当たり(損失)/利益 ²	3	(10.3)	10.4
継続事業に係る基本的普通株式1株当たり利益	3	3.5	9.3
非継続事業に係る基本的普通株式1株当たり(損失)/利益	3	(13.8)	1.1
希薄化後普通株式1株当たり(損失)/利益 ²	3	(10.1)	10.3
継続事業に係る希薄化後普通株式1株当たり利益	3	3.4	9.2
非継続事業に係る希薄化後普通株式1株当たり(損失)/利益	3	(13.5)	1.1

1 財務書類に対する注記は英語原文の47ページから54ページをご参照ください。

2 その他の株主に帰属する税引後利益6億3,900万ポンド(2016年: 4億5,700万ポンド)は剰余金に計上する税額控除1億7,400万ポンド(2016年: 1億2,800万ポンド)によって相殺されています。相殺後の4億6,500万ポンド(2016年: 3億2,900万ポンド)と非支配持分は、1株当たり(損失)/利益および平均有形株主資本利益率の計算において税引後利益から差し引かれています。

要約連結財務書類

要約連結包括利益計算書

	注記 ¹	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
税引後(損失)/利益		(894)	2,828
継続事業に係る税引後利益		1,301	2,237
非継続事業に係る税引後(損失)/利益		(2,195)	591
継続事業からの損益に振替えられる可能性のあるその他の包括(損失)/利益:			
為替換算再評価差額 ²	11	(1,337)	3,024
売却可能投資再評価差額	11	449	(387)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	11	(948)	798
その他		(5)	13
継続事業からの損益に振替えられる可能性のあるその他の包括(損失)/利益		(1,841)	3,448
継続事業からの損益に振替えられないその他の包括利益/(損失):			
退職給付の再測定		53	(980)
当グループ自身の信用度に関連する損益 ³	11	(11)	-
継続事業からの損益に振替えられないその他の包括利益/(損失)		42	(980)
継続事業からのその他の包括(損失)/利益		(1,799)	2,468
非継続事業からのその他の包括利益		1,301	1,520
包括(損失)/利益合計:			
継続事業からの税引後包括(損失)/利益合計		(498)	4,705
非継続事業からの税引後包括(損失)/利益合計		(894)	2,111
包括(損失)/利益合計		(1,392)	6,816
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		(1,749)	5,233
非支配持分	2	357	1,583
当期包括(損失)/利益合計:		(1,392)	6,816

1 財務書類に対する注記は英語原文の47ページから54ページをご参照ください。

2 為替換算再評価差額の振替に係る損失1億8,900万ポンド(2016年: 1億100万ポンドの利益)を含んでいます。

3 2017年1月1日付で当グループ自身の信用度に関連する損益に係るIFRS第9号の規定を早期適用したことに伴い、従来、損益計算書に計上されていた当グループ自身の信用度に関連する損益は、現在、その他の包括利益に認識されています。このため、当グループ自身の信用度に関連する未実現正味損失累計額1億7,500万ポンドは、利益剰余金からその他の剰余金の項目内の個別の勘定科目である当グループ自身の信用度に関連する剰余金に再分類されています。2017年12月31日に終了した年度において、当グループ自身の信用度に関連する損失400万ポンド(税引後)がこの剰余金に計上されています。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表

	注記 ¹	2017年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 12月31日現在 (百万ポンド)
資産			
現金および中央銀行預け金		171,082	102,353
他銀行からの取立中の項目		2,153	1,467
トレーディング・ポートフォリオ資産		113,760	80,240
公正価値で測定すると指定された金融資産		116,281	78,608
デリバティブ		237,669	346,626
金融投資		58,916	63,317
銀行に対する貸付金		35,663	43,251
顧客に対する貸付金		365,552	392,784
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		12,546	13,454
未取還付税および繰延税金資産		3,939	5,430
前払金、未収収益およびその他の資産		2,389	2,893
関連会社および合併企業に対する投資		718	684
のれんおよび無形資産		7,849	7,726
有形固定資産		2,572	2,825
退職給付資産	8	966	14
売却目的保有に分類された処分グループに含まれる資産	12	1,193	71,454
資産合計		1,133,248	1,213,126
負債			
銀行預り金		37,723	48,214
他銀行への未決済項目		446	636
顧客預り金		429,121	423,178
レポ取引およびその他類似の担保付借入		40,338	19,760
トレーディング・ポートフォリオ負債		37,351	34,687
公正価値で測定すると指定された金融負債		173,718	96,031
デリバティブ		238,345	340,487
発行債券 ²		73,314	75,932
劣後負債	6	23,826	23,383
未払金、繰延収益およびその他負債		8,565	8,871
未払税金および繰延税金負債		630	766
引当金	7	3,543	4,134
退職給付債務	8	312	390
売却目的保有に分類された処分グループに含まれる負債	12	-	65,292
負債合計		1,067,232	1,141,761
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	9	22,045	21,842
その他の剰余金	11	5,383	6,051
利益剰余金		27,536	30,531
親会社の普通株主に帰属する株主資本		54,964	58,424
その他の持分商品	10	8,941	6,449
非支配持分を除く株主資本合計		63,905	64,873
非支配持分	2	2,111	6,492
株主資本合計		66,016	71,365

¹ 財務書類に対する注記は英語原文の47ページから54ページをご参照ください。

² 発行債券には85億ポンド(2016年12月: 124億ポンド)のカバード・ボンドが含まれています。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表

	払込済株式 資本および 株式払込 剰余金 ¹	その他の 持分商品 ¹	その他の 剰余金 ¹	利益剰余金	合計	非支配持分 ²	株主資本 合計
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2017年12月31日に終了した年度							
2016年12月31日現在残高	21,842	6,449	6,051	30,531	64,873	6,492	71,365
会計方針の変更による影響 ³	-	-	(175)	175	-	-	-
2017年1月1日現在残高	21,842	6,449	5,876	30,706	64,873	6,492	71,365
税引後利益	-	639	-	413	1,052	249	1,301
当期税引後その他の包括利益	-	-	(1,846)	48	(1,798)	(1)	(1,799)
継続事業からの税引後包括利益合計	-	639	(1,846)	461	(746)	248	(498)
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	1,332	(2,335)	(1,003)	109	(894)
当期包括利益合計	-	639	(514)	(1,874)	(1,749)	357	(1,392)
普通株式の新規発行	117	-	-	-	117	-	117
従業員株式制度に基づく株式発行	86	-	-	505	591	-	591
その他の持分商品の発行および交換	-	2,490	-	-	2,490	-	2,490
配当金支払額	-	-	-	(509)	(509)	(415)	(924)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(639)	-	174	(465)	-	(465)
優先株式の償還	-	-	-	(479)	(479)	(860)	(1,339)
自己株式	-	-	14	(636)	(622)	-	(622)
BAGLの一部売却による株主資本への 正味影響額	-	-	-	(359)	(359)	(3,462)	(3,821)
その他の変動	-	2	7	8	17	(1)	16
2017年12月31日現在残高	22,045	8,941	5,383	27,536	63,905	2,111	66,016
2016年12月31日に終了した年度							
2016年1月1日現在残高	21,586	5,305	1,898	31,021	59,810	6,054	65,864
税引後利益	-	457	-	1,434	1,891	346	2,237
当期税引後その他の包括利益	-	-	3,433	(968)	2,465	3	2,468
継続事業からの税引後包括利益合計	-	457	3,433	466	4,356	349	4,705
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	694	183	877	1,234	2,111
当期包括利益合計	-	457	4,127	649	5,233	1,583	6,816
普通株式の新規発行	68	-	-	-	68	-	68
従業員株式制度に基づく株式発行	188	-	-	668	856	-	856
その他の持分商品の発行および交換	-	1,132	-	-	1,132	-	1,132
配当金支払額	-	-	-	(757)	(757)	(575)	(1,332)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(457)	-	128	(329)	-	(329)
優先株式の償還	-	-	-	(417)	(417)	(1,170)	(1,587)
自己株式	-	-	26	(415)	(389)	-	(389)
BAGLの一部売却による株主資本への 正味影響額	-	-	-	(349)	(349)	601	252
その他の変動	-	12	-	3	15	(1)	14
2016年12月31日現在残高	21,842	6,449	6,051	30,531	64,873	6,492	71,365

1 払込済株式資本、株式払込剰余金、その他の持分商品およびその他の剰余金の詳細は英語原文の51、52ページに記載されています。

2 非支配持分の詳細は英語原文の47ページに記載されています。

3 2017年1月1日付で当グループ自身の信用度に関連する損益に係るIFRS第9号の規定を早期適用したことに伴い、従来、損益計算書に計上されていた当グループ自身の信用度に関連する損益は、現在、その他の包括利益に認識されています。このため、当グループ自身の信用度に関連する未実現正味損失累計額1億7,500万ポンドは、利益剰余金からその他の剰余金の項目内の個別の勘定科目である当グループ自身の信用度に関連する剰余金に再分類されています。2017年12月31日に終了した年度において、当グループ自身の信用度に関連する損失400万ポンド(税引後)がこの剰余金に計上されています。

要約連結財務書類

要約連結キャッシュフロー計算書

	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
税引前利益	3,541	3,230
非現金項目の調整	6,023	(15,355)
営業資産および負債の変動	51,855	24,191
法人税等支払額	(708)	(780)
営業活動からのキャッシュ純額	60,711	11,286
投資活動からのキャッシュ純額	3,502	36,707
財務活動からのキャッシュ純額	961	(1,317)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	(4,773)	10,473
継続事業からの現金および現金同等物の純増加	60,401	57,149
非継続事業からのキャッシュ純額	101	405
現金および現金同等物の純増加	60,502	57,554
現金および現金同等物 期首残高	144,110	86,556
現金および現金同等物 期末残高	204,612	144,110

財務書類に対する注記(抜粋)

7. 引当金

2017年
12月31日現在
(百万ポンド)

2016年
12月31日現在
(百万ポンド)

英国顧客への補償:

- 支払保障保険(PPI)に係る補償	1,606	1,979
- その他顧客に対する補償	639	712
法律、競争および当局関連	435	455
人員削減および事業再編	159	206
未実行のコミテッド・ファンリティおよび提供された保証	79	67
有償契約	225	385
その他引当金	400	330
合計	3,543	4,134

支払保障保険(PPI)に係る補償

2017年12月31日現在、パークレイズは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および関連する請求処理費用に対して累計総額92億ポンド(2016年12月: 84億ポンド)を引当金として認識していました。このうち76億ポンド(2016年12月: 64億ポンド)が取り崩され、引当金の残高は16億ポンド(2016年12月: 20億ポンド)となっています。

2017年12月31日までに、顧客が開始した210万件(2016年12月: 180万件)の請求¹が受理され、処理されています。2017年度に受理された請求件数は2016年度より16%増加しました。この増加は2017年度下半期に金融行為監督機構(FCA)が開始した広告キャンペーンの影響を受けたものです。

現在の引当金は、年度末の情報に基づいて主に顧客が開始した請求および進行中の是正プログラムに関連するPPIに係る補償費用の見積りを反映しています。また、これには年度末の情報に基づいて以前に売却したポートフォリオから発生し、第三者が管理している負債で、パークレイズが引き続き責任を負うものも含まれています。

2017年12月31日現在、16億ポンドの引当金は、FCAが実施した2019年8月29日の請求最終期限を反映して想定されるPPI補償についてのパークレイズの最善の見積りを表しています。しかしながら、最終的な結果が現在の見積りと異なる可能性があります。当社は将来の影響に関して引当金水準の適切性を引き続き見直していきます。

PPI引当金は、重要なモデリングと経営者の判断を継続的に伴う多くの重要な仮定を用いて算出されています。:

- 顧客が開始した請求件数 – 受理されたものの未処理の請求に加え、今後顧客が開始する請求の見積りで、後者はPPI請求期限後には請求が停止すると予想されています
- 平均請求補償額 – 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額
- 請求1件当たりの処理費用 – 有効な請求1件を評価および処理するためにパークレイズに発生する費用

これらの仮定は、請求管理会社(CMC)の活動およびFCAの広告キャンペーンから生じる請求を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的なものです。

下表は、2017年12月31日までの実績データ、引当金算出に使用した主要な予測の仮定および感応度分析を詳述し、将来の予想についての仮定が高過ぎるまたは低過ぎると判明した場合の引当金への影響を説明しています。

仮定	2017年		感応度分析引当金の 増加/減少
	12月31日までの累計実績	将来の予想	
顧客が開始した請求の受理および処理件数 ¹	213万件	57万件	5万件 = 10,400万ポンド
請求1件当たりの平均承認率 ²	87%	87%	1% = 1,100万ポンド
有効請求1件当たりの平均補償額 ³	2,036ポンド	1,989ポンド	100ポンド = 5,000万ポンド

¹ これまでにパークレイズが直接受理した請求件数の合計で、CMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI保険証書が存在しないものと積極的な通知郵送への回答を含めていません。感応度分析では、顧客が開始した請求件数の5万件増加または減少が引当金水準に及ぼす影響を算出しています。

² 請求1件当たりの平均承認率はパークレイズが直接受理した顧客が開始した請求件数および積極的な通知郵送への回答を対象としており、PPI保険証書が存在しない場合は含めていません。感応度分析では、請求1件当たりの平均承認率の1%の変化が引当金水準に及ぼす影響を算出しています。

³ 平均補償額はパークレイズが直接受理する顧客が開始する将来の請求に関する保険契約1件当たりベースで表示されています。感応度分析では、請求1件当たりの平均補償額の100ポンド増加または減少が引当金水準に及ぼす影響を算出しています。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

パークレイズ経営陣は、本書に記載されている非 IFRS パフォーマンス指標は異なる財務期間のパフォーマンスを比較するためのより一貫性のある基準を識別することから、財務書類を参照する際の有益な情報を提供し、また、各事業責任者がパークレイズ・ピーエルシーおよびその子会社（「グループ」）の評価をする際、最も直接的に影響を及ぼすことができる、あるいは関係するパフォーマンスの要素に関してより詳細な情報を提供すると考えています。また、非 IFRS パフォーマンス指標は、パークレイズ経営陣が事業運営目標をどう定義し、パフォーマンスをどう監視しているかについての重要な側面も反映しています。

本書に記載されている非 IFRS パフォーマンス指標は IFRS 指標を代替するものではありません。IFRS 指標も併せてご考慮ください。

非IFRSパフォーマンス指標用語集

指標	定義
預貸率	パークレイズUKおよびパークレイズ・インターナショナルの貸付金を顧客預り金で除したもの（利付貸付金以外のインベストメント・バンキング業務残高を除く）。リテール預金と同様の性格を持つリテール事業で発行された特定の負債（仕組譲渡性預金、個人向け債券など）はここには含まれず、発行債券に含まれる。計表は英語原文の30ページに記載。
期末割当有形株主資本	割当有形株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、のれんおよび無形資産を除き、改正資本要件指令（CRD IV）完全施行ベースでの資本控除を調整後の各事業部門のCRD IV完全施行ベースのリスク調整後資産の12.0%（2016年度：11.5%）として算出。本社の割当有形株主資本は当グループの有形株主資本と事業部門への割当額との差額を表す。
平均有形株主資本	前月末の有形株主資本と当月末の有形株主資本の平均で算出。当期の平均有形株主資本は、当期の月次平均の平均。
平均割当有形株主資本	前月末の割当有形株主資本と当月末の割当有形株主資本の平均で算出。当期の平均割当有形株主資本は、当期の月次平均の平均。
平均有形株主資本利益率	平均株主資本（非支配持分およびその他の持分商品を除き、無形資産およびのれんの控除を調整後）に対する普通株主に帰属する法定税引後利益（その他の持分商品に関連して剰余金に計上される税額控除を調整後）の比率。計表は英語原文の56、57ページに記載。
平均割当有形株主資本利益率	平均割当有形株主資本に対する普通株主に帰属する法定税引後利益（その他の持分商品に関連して剰余金に計上される税額控除を調整後）の比率。計表は英語原文の56、57ページに記載。
収益に対する費用の比率	営業費用を収益合計で除したもの。
訴訟および特定行為を除く営業費用	訴訟および特定行為に関する費用を除く営業費用。計表は英語原文の57ページに記載。
貸倒率	ベース・ポイントで表示。貸付金減損合計を貸借対照表日現在の償却原価で保有する銀行および顧客に対する貸付金総額で除したもの。計表は英語原文の26ページに記載。
純利ざや	利息収入純額を平均顧客資産の合計額で除したもの。計表は英語原文の22ページに記載。
1株当たり正味有形資産価額	株主資本（非支配持分およびその他の持分商品を除く）からののれんおよび無形資産を差し引いた額を発行済普通株式数で除したもの。計表は英語原文の57ページに記載。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

リターン

平均有形株主資本利益率は、親会社の普通株主に帰属する当期利益(その他の持分商品に係る支払利息に関連して剰余金に計上されている税額控除を調整後)を、各事業の非支配持分およびその他の株主資本を除いた当期の平均有形株主資本で除して算出されます。割当有形株主資本は、CRD IV 完全施行ベースの資本控除を調整し、のれんおよび無形資産を除外し、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、CRD IV の完全施行ベースでの各事業部門のリスク調整後資産の 12.0% (2016 年度: 11.5%)として算出されています。本社の平均割当有形株主資本は当グループの平均有形株主資本と各事業部門への割当額との差額を表しています。

	株主帰属 利益/(損失) (百万ポンド)	その他の 持分商品に係る 支払利息に関する 税額控除 (百万ポンド)	親会社の 普通株主に 帰属する 利益/(損失) (百万ポンド)	平均有形 株主資本 (億ポンド)	平均有形 株主資本 利益率 (%)
2017 年 12 月 31 日に終了した年度					
バークレイズ UK	853	40	893	91	9.8
コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)	167	102	269	240	1.1
コンシューマー、カードおよび決済事業	680	18	698	42	16.7
バークレイズ・インターナショナル	847	120	967	281	3.4
本社 ¹	(868)	4	(864)	93	n/m
バークレイズ・ノンコア	(419)	10	(409)	24	n/m
アフリカ・バンキング非継続事業 ¹	(2,335)	-	(2,335)	n/m	n/m
バークレイズ・グループ	(1,922)	174	(1,748)	489	(3.6)
2016 年 12 月 31 日に終了した年度					
バークレイズ UK	828	29	857	89	9.6
コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)	1,270	72	1,342	219	6.1
コンシューマー、カードおよび決済事業	1,142	11	1,153	36	31.4
バークレイズ・インターナショナル	2,412	83	2,495	255	9.8
本社 ¹	110	(1)	109	65	n/m
バークレイズ・ノンコア	(1,916)	17	(1,899)	78	n/m
アフリカ・バンキング非継続事業 ¹	189	-	189	n/m	n/m
バークレイズ・グループ	1,623	128	1,751	487	3.6

¹ アフリカ・バンキングに関連する平均割当有形株主資本は本社に含まれます。

訴訟および特定行為、パークレイズの BAGL 持分削減および米国繰延税金資産の再測定に係る損失を除くパフォーマンス指標

2017年12月31日に
終了した年度
(百万ポンド)パークレイズ・グループの親会社の普通株主に帰属する利益¹

パークレイズ・グループの普通株主に帰属する利益	(1,748)
訴訟および特定行為の影響	1,150
パークレイズの BAGL 持分の減損の影響	1,008
BAGL 売却に係る損失の影響	1,435
米国繰延税金資産の再測定に係る正味影響	901
訴訟および特定行為、パークレイズの BAGL 持分削減および米国繰延税金資産の再測定に係る損失を除くパークレイズ・グループの親会社の普通株主に帰属する利益	2,746

パークレイズ・グループの平均有形株主資本利益率

パークレイズ・グループの平均有形株主資本(億ポンド)	489
----------------------------	-----

訴訟および特定行為、パークレイズの BAGL 持分削減および米国繰延税金資産の再測定に係る損失を除くパークレイズ・グループの平均有形株主資本利益率

5.6%

パークレイズ・グループの基本的普通株式 1 株当たり利益

基本的加重平均株式数(百万株)	16,996
-----------------	--------

訴訟および特定行為、パークレイズの BAGL 持分削減および米国繰延税金資産の再測定に係る損失を除くパークレイズ・グループの基本的普通株式 1 株当たり利益

16.2 ペンス

訴訟および特定行為を除く営業費用

2017年12月31日に
終了した年度
(百万ポンド)2016年12月31日に
終了した年度
(百万ポンド)

パークレイズ・グループの営業費用	(15,456)	(16,338)
訴訟および特定行為の影響	1,207	1,363
パークレイズ・グループの訴訟および特定行為を除く営業費用	(14,249)	(14,975)

正味有形資産価額

2017年
12月31日現在
(百万ポンド)2016年
12月31日現在
(百万ポンド)

非支配持分を除く株主資本合計	63,905	64,873
その他の持分商品	(8,941)	(6,449)
のれんおよび無形資産 ²	(7,849)	(9,245)
親会社の普通株主に帰属する非支配持分を除く有形株主資本	47,115	49,179

(百万株)

(百万株)

発行済株式	17,060	16,963
-------	--------	--------

ペンス

ペンス

1 株当たりの正味有形資産価額	276	290
------------------------	------------	------------

¹ その他の株主持分に帰属する税引後利益 6 億 3,900 万ポンド(2016 年: 4 億 5,700 万ポンド)は剰余金に計上する税額控除 1 億 7,400 万ポンド(2016 年: 1 億 2,800 万ポンド)によって相殺されています。1 株当たり利益及び平均有形株主資本利益率は残りの 4 億 6,500 万ポンド(2016 年: 3 億 2,900 万ポンド)と非支配持分を税引後利益から差し引いて計算したものです。

² 2016 年度の比較数値は、アフリカ・バンキングに関連するのれんおよび無形資産を含みます。

株主情報

決算報告スケジュール¹

2018年度第1四半期決算報告書

発表日

2018年4月26日

為替レート ²	2017年	2016年	増減率(%) ³
	12月31日に 終了した年度	12月31日に 終了した年度	
期末日一米ドル/英ポンド	1.35	1.23	10
平均一米ドル/英ポンド	1.29	1.36	(5)
3ヵ月平均一米ドル/英ポンド	1.33	1.24	7
期末日一ユーロ/英ポンド	1.13	1.17	(3)
平均一ユーロ/英ポンド	1.14	1.23	(7)
3ヵ月平均一ユーロ/英ポンド	1.13	1.15	(2)

株価データ

パークレイズ・ピーエルシー(ペンス)	203.10	223.45
パークレイズ・ピーエルシー株式数(百万株)	17,060	16,963

お問い合わせ

インベスター・リレーションズ

キャサリン・マクレランド +44 (0) 20 7116 4943

メディア・リレーションズ

トーマス・ホスキンス +44 (0) 20 7116 4755

パークレイズの詳細は当社のホームページ(home.barclays)にて閲覧可能です。

登記所在地

1 Churchill Place, London, E14 5HP, United Kingdom. 電話: +44 (0) 20 7116 1000 会社番号: 48839

登記

Equiniti, Aspect House, Spencer Road, Lancing, West Sussex, BN99 6DA, United Kingdom.

電話: 0371 384 2055⁴(英国内) または +44 121 415 7004(海外)

¹ 発表日は現時点で予定されているものであり、変更になる場合があります。

² 上記の平均為替レートは、各期間における日次のスポット・レートの平均です。

³ 増減率は英ポンドの数字に対する影響に基づくものです。

⁴ お電話でのお問い合わせへの対応時間はイングランドおよびウェールズの休祝日を除く月曜日から金曜日の英国時間午前8時30分から午後5時30分までとなっています。